

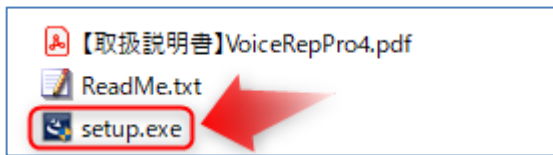
Voice Rep Pro 4

取扱説明書

※本取扱説明書に記載している画像は、Windows 10 で取得したものです。
OSの種類によっては、異なる画面イメージになります。

1. インストール方法

STEP 1 ダウンロードしたファイルを任意の場所に解凍し、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。



※下記画面が表示されたときは、[詳細情報]をクリックし、表示された画面で[実行]をクリックしてください。



STEP 2 最初にライセンスキー登録画面が表示されます。

ライセンスキーの登録 (Voice Rep Pro 4) --ボイステクノ

ライセンスキーを入力 (コピー&ペースト) してください

本ソフトを登録するメールアドレスを入力してください

メールアドレスを再入力してください

登録

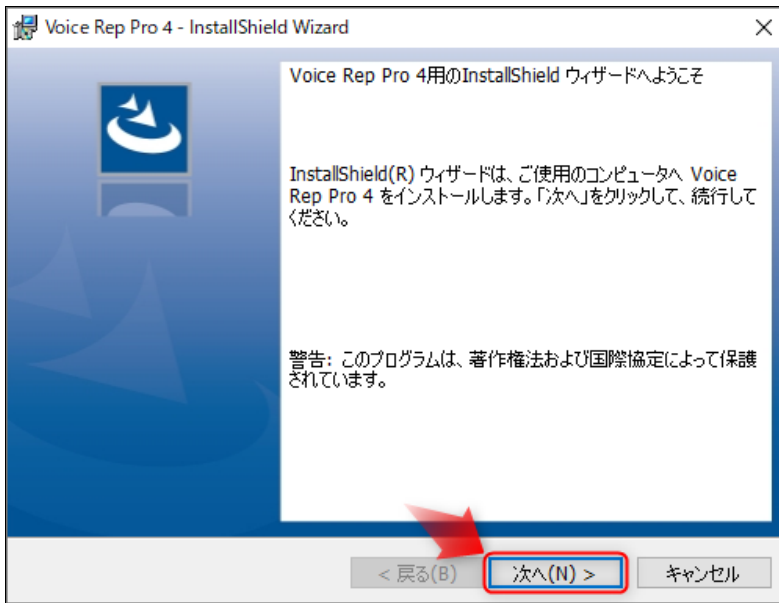
※登録前には、今一度、メールアドレスに間違いがないか、確認してください

※登録ボタンは、1回だけクリックしてください
※ネット回線の状態によっては、少し時間がかかることがあります
※ダブルクリックや2回目のクリックを行わないようにしてください

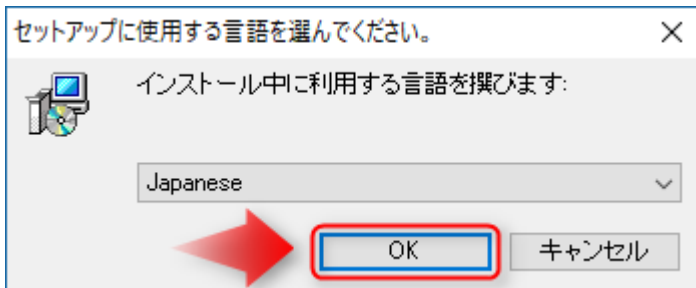
- ①ご購入されたライセンスキーを入力 (コピー&ペースト) してください。
- ②ご購入者のメールアドレスを入力してください。

- ③メールアドレスを再入力してください。
- ④「登録」ボタンを1回だけクリックしてください。

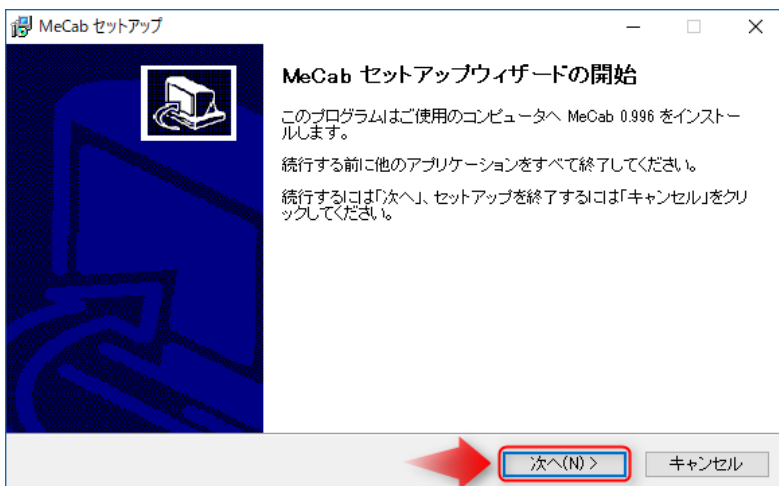
STEP 3 「次へ」をクリックしてください。



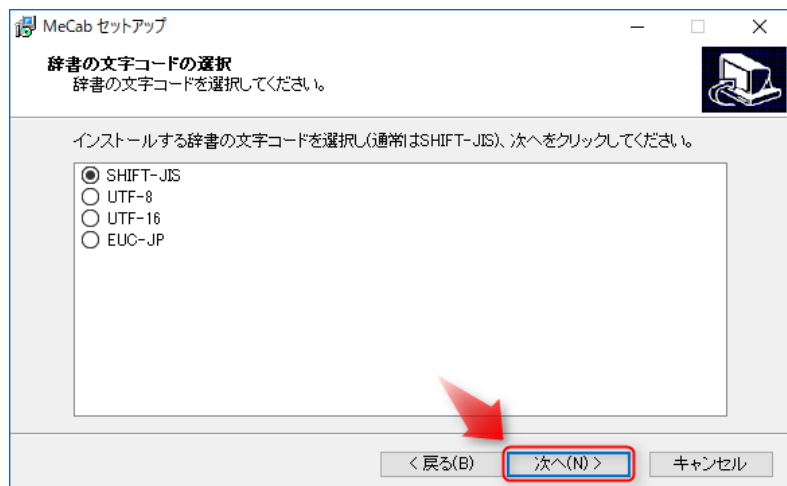
STEP 4 Voice Rep Pro 4 のインストールに先立ち、本ソフトに必要な Mecab をインストールします。表示される画面に沿って実行してください。「OK」をクリックしてください。



「次へ」をクリックしてください。

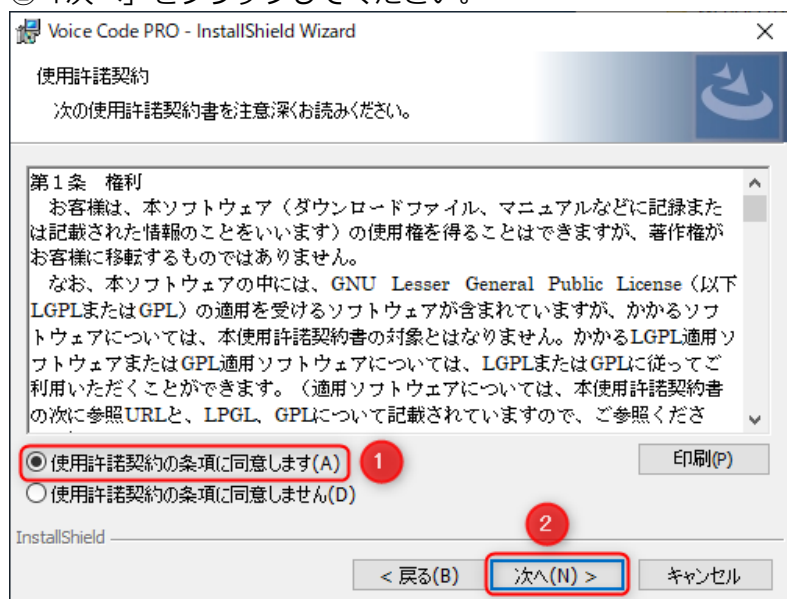


SHIFT-JIS が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

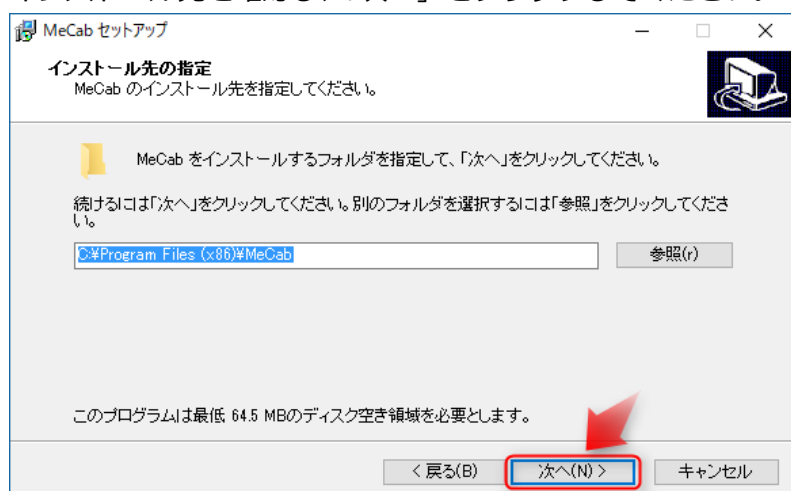


①使用許諾条件をお読みにになり、同意頂ければ、「同意します」にチェックを入れてください。

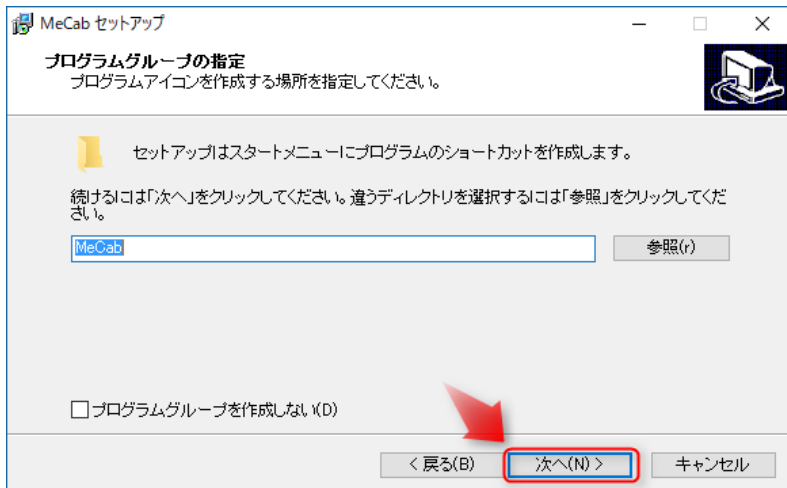
②「次へ」をクリックしてください。



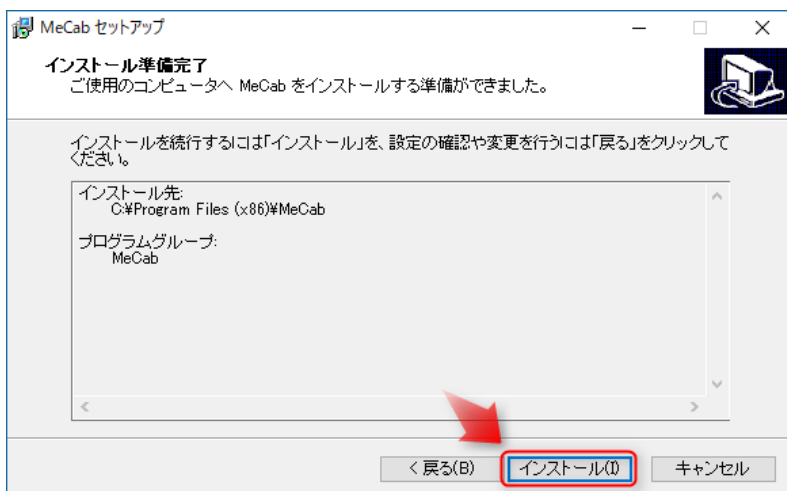
インストール先を確認し、「次へ」をクリックしてください。



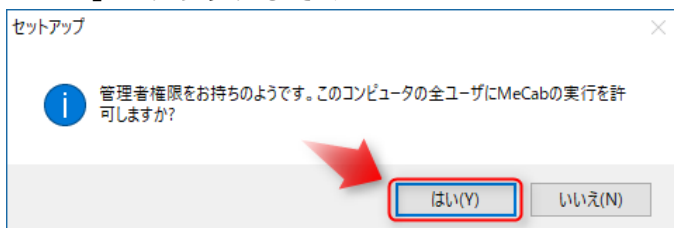
「次へ」をクリックしてください。



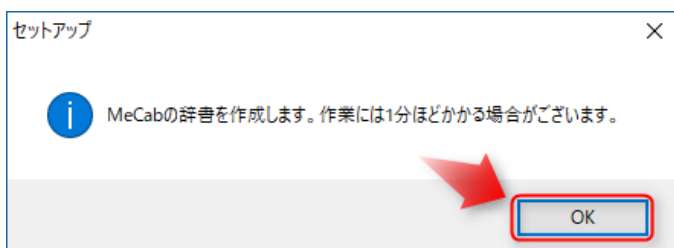
「インストール」をクリックしてください。



「はい」をクリックしてください。

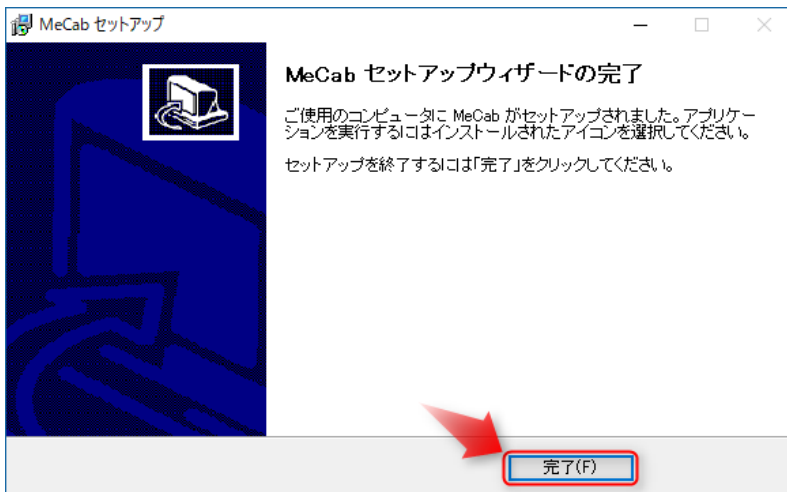


「OK」をクリックしてください。



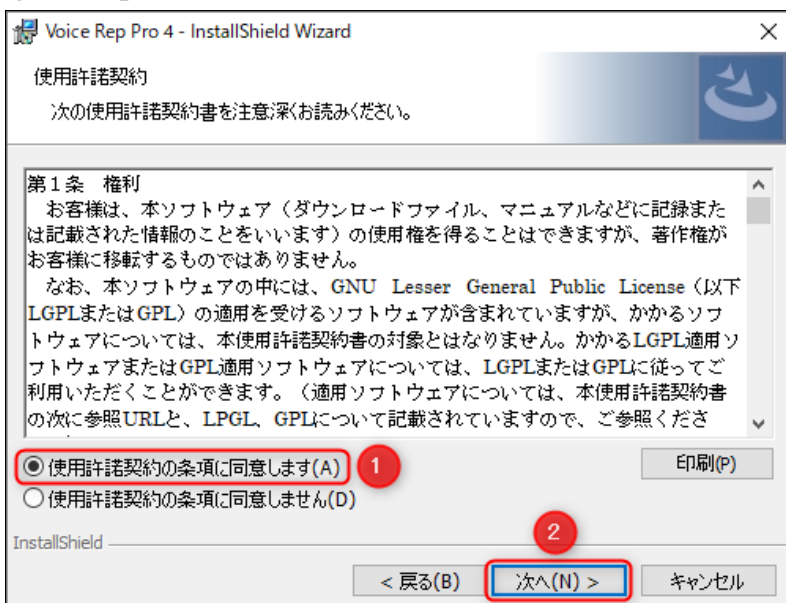
```
C:\Program Files (x86)\MeCab\bin\mecab-dict-index.exe
reading .¥Adnominal.csv ... 135
reading .¥Adverb.csv ... 3032
reading .¥Auxil.csv ... 199
reading .¥Conjunction.csv ... 171
reading .¥Filler.csv ... 19
reading .¥Interjection.csv ... 252
reading .¥Noun.adjv.csv ... 3328
reading .¥Noun.adverbial.csv ... 795
reading .¥Noun.csv ... 60477
reading .¥Noun.demonst.csv ... 120
reading .¥Noun.nai.csv ... 42
reading .¥Noun.name.csv ... 34202
reading .¥Noun.number.csv ... 42
reading .¥Noun.org.csv ... 16668
reading .¥Noun.others.csv ... 151
reading .¥Noun.place.csv ... 72999
reading .¥Noun.proper.csv ... 27327
reading .¥Noun.verbal.csv ... 12146
reading .¥Others.csv ... 2
reading .¥Postp-col.csv ... 91
reading .¥Postp.csv ... 146
reading .¥Prefix.csv ... 221
reading .¥Suffix.csv ... 1393
reading .¥Symbol.csv ... 208
reading .¥Verb.csv ...
```

「完了」をクリックしてください。

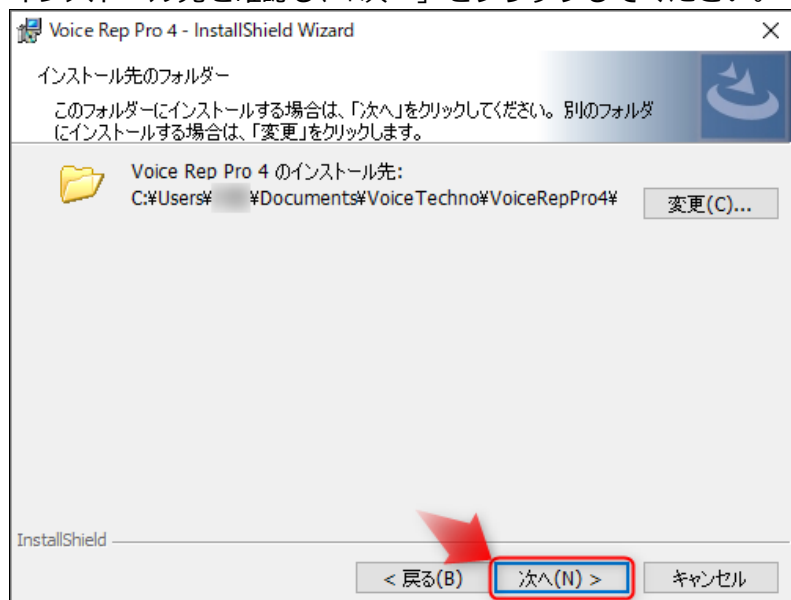


STEP 5 Voice Rep Pro 4 をインストールします。表示される画面に沿って実行してください。

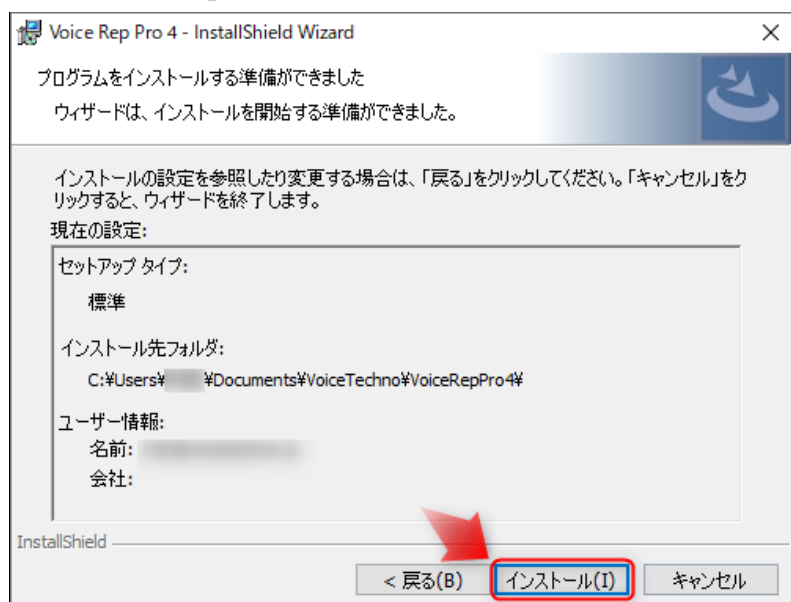
- ① 使用許諾条件をお読みにになり、同意頂ければ、「同意します」にチェックを入れてください。
- ② 「次へ」をクリックしてください。



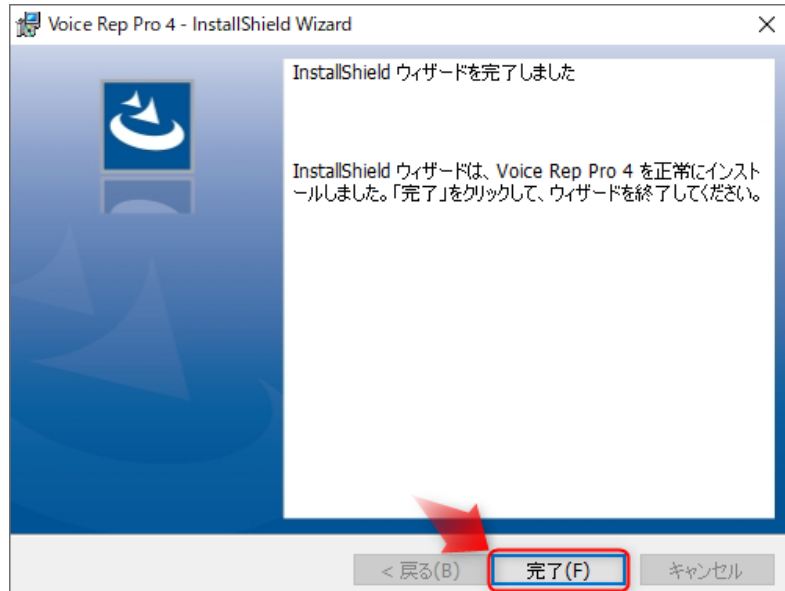
インストール先を確認し、「次へ」をクリックしてください。



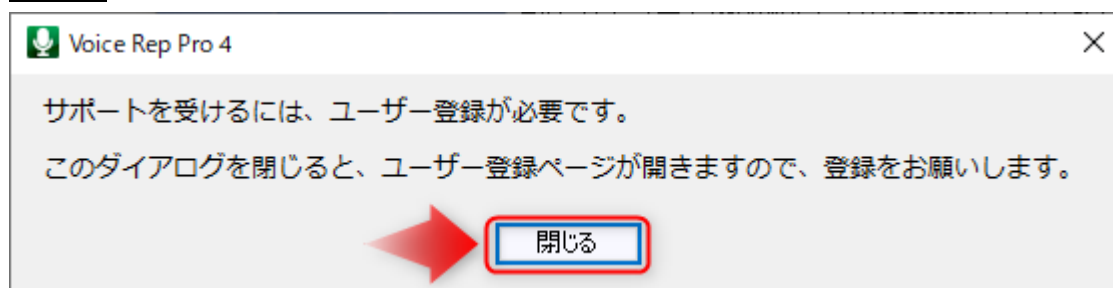
「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。



インストールが完了したら、「完了」をクリックしてください。



STEP 6 ユーザー登録案内のメッセージが表示されます。内容を確認し[閉じる]ボタンをクリックしてください。



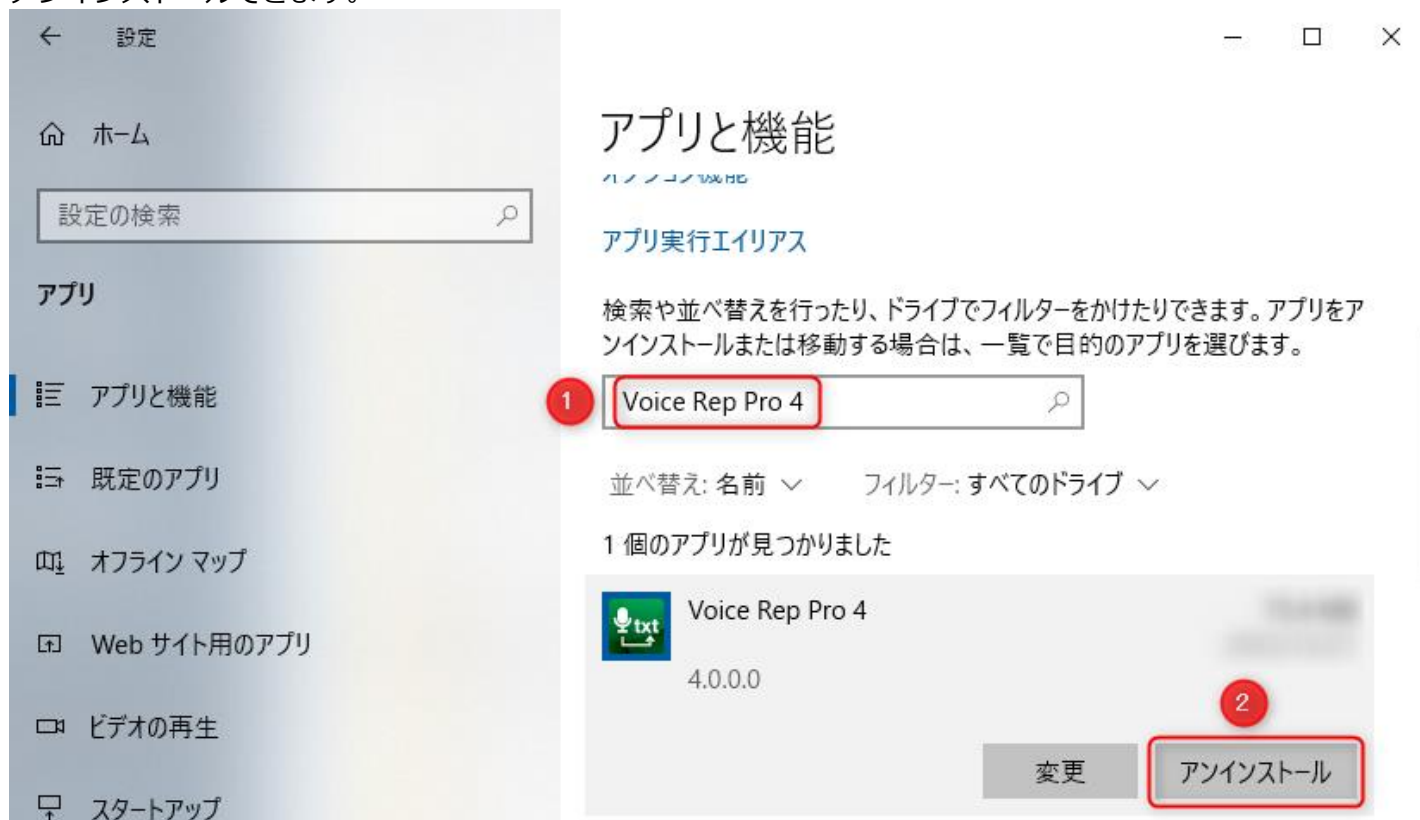
STEP 7 ブラウザが起動し、ボイステクノの「ユーザー登録ページ」が立ち上がります。お手数ではございますが、ソフトのご利用前に必ずユーザー登録をお願いいたします。



◆もしユーザー登録し忘れた場合は、[こちら](#)（Ctrl キーを押しながらクリック）で登録ページが表示されます。

2. アンインストール方法

Windows 10 / Windows 11 の場合、スタートメニュー>設定>アプリから、「アプリと機能」を表示することでアンインストールできます。



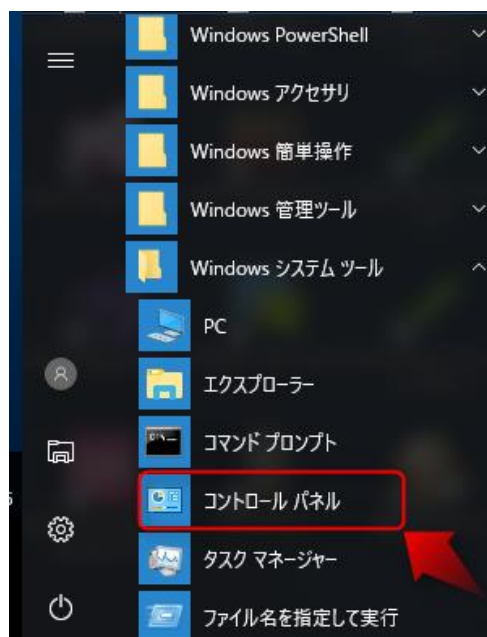
① 「Voice Rep Pro 4」と入力すると、[Voice Rep Pro 4]に関するアプリが検索され表示されます。

② [アンインストール]をクリックします。

◆Voice Rep Pro 4 に引き続き、「Mecab 0.996」も同じ手順でアンインストールします。

Windows 10/Windows 11 のコントロールパネルからアンインストールする場合

コントロールパネルの「プログラムと機能」を選択し、その中にある「Voice Rep Pro 4」をクリック。画面上部にある「アンインストール」をクリックすると、アンインストールが開始されます。



Windows 10 では、スタートメニュー>Windows システムツールの中にある「コントロールパネル」を選択します。
Windows 11 では、スタートメニュー>Windows ツールの中にある「コントロールパネル」を選択します。

コンピューターの設定を調整します

表示方法: カテゴリ ▾



システムとセキュリティ

コンピューターの状態を確認
ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存
バックアップと復元 (Windows 7)
問題の発見と解決



ネットワークとインターネット

ネットワークの状態とタスクの表示
ホームグループと共有に関するオプションの選択



ハードウェアとサウンド

デバイスとプリンターの表示
デバイスの追加



プログラム

プログラムのアンインストール



ユーザー アカウント

アカウントの種類の変更



デスクトップのカスタマイズ

テーマの変更
画面の解像度の調整



時計、言語、および地域

言語の追加
入力方法の変更
日付、時刻、または数値の形式の変更



コンピューターの簡単操作

設定の提案の表示
視覚ディスプレイの最適化



プログラムと機能

コントロール パネル ホーム

インストールされた更新プログラムを表示

Windows の機能の有効化または無効化

プログラムのアンインストールまたは変更

プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックします。

整理 ▾ アンインストール 変更 修復

名前	発行元
Voice Rep Pro 4	ボイステクノ
MeCab 0.996	Taku Kudo

Voice Rep Pro 製品バージョン: 4.0.0.0
ヘルプのリンク: <http://www.voicetechno.jp/>

①アンインストールするソフトを選択します。

②[アンインストール]をクリックします。

◆Voice Rep Pro 4 に引き続き、「Mecab 0.996」も同じ手順でアンインストールします。

3. 事前準備

3-1 Google Chrome をインストール

本ソフトは、Google Chrome を介して音声認識を行います。Chrome がインストールされていない場合は、先に、Chrome をインストールしてください。



本ソフトウェアは、Google 社の音声認識エンジンをインターネットを介して利用しています。そのため、Google 社の音声認識サービスが利用できなくなると、本ソフトの音声認識機能も利用できなくなります。音声認識のために、音声データがインターネットを介してデータが送受信されます。機密情報を含む音声のご利用はお控えいただきますようお願い申し上げます。本ソフトで音声を認識させても、音声やマイクの種類等の条件により、認識精度が出ないことがあります。これら音声認識機能のサービス継続、利用、精度等に関して、ボイステクノ並びに販売業者等は、いかなる責任も負いません。あらかじめご了承ください。なお、本ソフトでの音声認識機能については、[Google 利用規約](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) をよくご確認の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

3-2 録音デバイスの設定

本ソフトで、音声認識を行う場合、先に録音デバイスの設定を行う必要があります。

◆録音デバイスは、パソコンメーカーがパソコンに搭載しているサウンドデバイスのことを指します。パソコンごとに、搭載されているデバイスの種類や録音デバイスを動かすためのドライバーが異なります。パソコンに搭載されている録音デバイスの詳細は、ご利用のパソコンの取扱い説明書をご確認ください。

本ソフトで、音声認識を行うときの録音デバイスの設定は、次の通りです。次の表に基づいて、マイク、または、ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定してください。(設定方法は次ページ)

マイクによる音声の文字化	マイク
録音音声を再生して文字化	ステレオミキサー

◆録音デバイスの名称は、パソコンメーカーが設定しているため、異なることがあります。また、ステレオミキサーは、パソコンによっては、搭載されていないことがあります。ステレオミキサーが搭載されていないパソコンの場合、P16 記載のステレオミキサーがない場合の対応方法①、対応方法②をご参照ください。

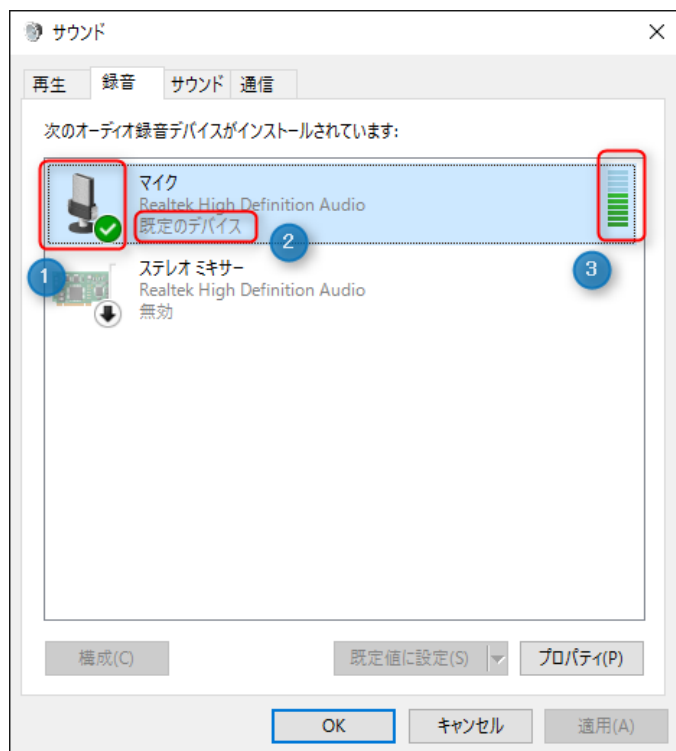
◆録音デバイスの設定は、必ず「既定のデバイス」となるように設定してください。「既定の通信デバイス」となっている場合、認識できません。(P13,P15 を参照) また、レベルを適切に設定しないと認識精度が悪くなります。

◆マイク音声入力を行う場合、パソコンにマイクを接続してからでないと、マイクを「既定のデバイスに」設定できません。先に、マイクをパソコンに接続しておいてください。

起動画面から、[録音デバイス]をクリックします。



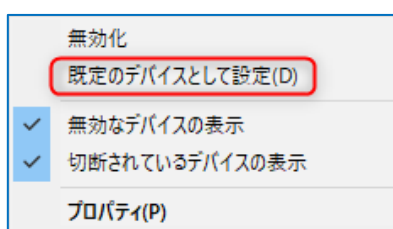
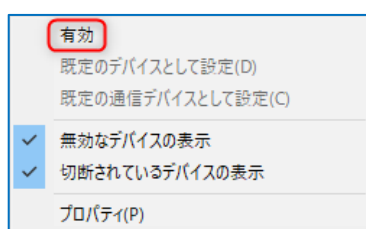
「マイクによる音声を文字化」の場合



①マイクにチェックが入った状態

②マイクが「既定のデバイス」となるように設定します。

◆右クリックメニューから「有効化」または「既定のデバイスとして設定」を選択することで設定できます。



③マイクの場合、マイクに向かって話すと、インジケータが適度に触れることを確認します。

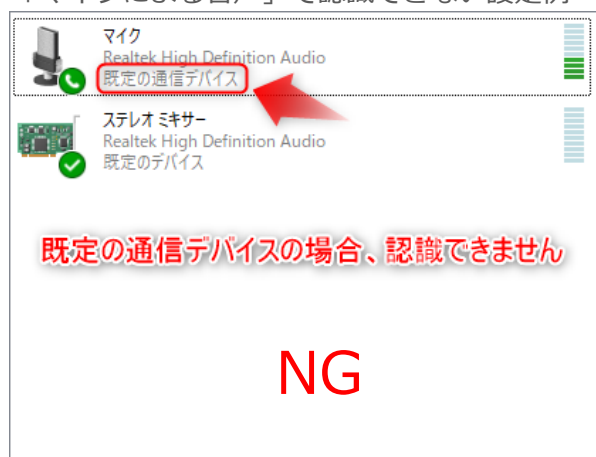
◆インジケータが適度に振れない場合、「プロパティ」をクリックして、表示されるダイアログでレベルを調整します。

[レベル]タブを選択し、スライダーを移動させて、マイク、マイクブーストのレベルを調整します。(調整して、適切かどうかは、前頁のインジケータが適度に振れるかどうかで判断します。)

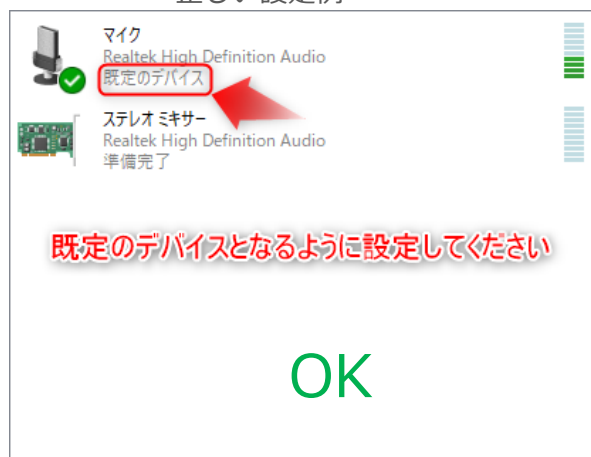


- ◆マイクの種類によっては、マイクブーストが存在しないことがあります。
- ◆マイクのレベルを調整しても、インジケータが適度に振れない場合は、マイク、またはパソコンの問題になります。マイクまたは、パソコンメーカーにお問合せください。
- ◆右クリックメニューから「無効なデバイスの表示」「切断されているデバイスの表示」を選択すると、デバイスが表示される場合があります。
- ◆「既定の通信デバイス」となっている場合は、インジケータが反応していても認識できません。右クリックメニューから「既定のデバイス」となるように設定してください。使用しないデバイスは、右クリックメニューから「無効化」を選択するとより確実です。

「マイクによる音声」で認識できない設定例



正しい設定例



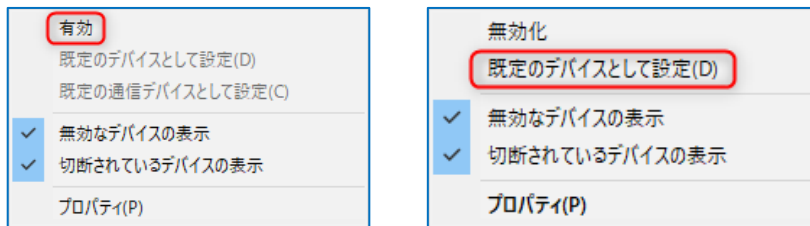
「録音音声を再生して文字化」の場合



①ステレオミキサーにチェックが入った状態

②ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定します。

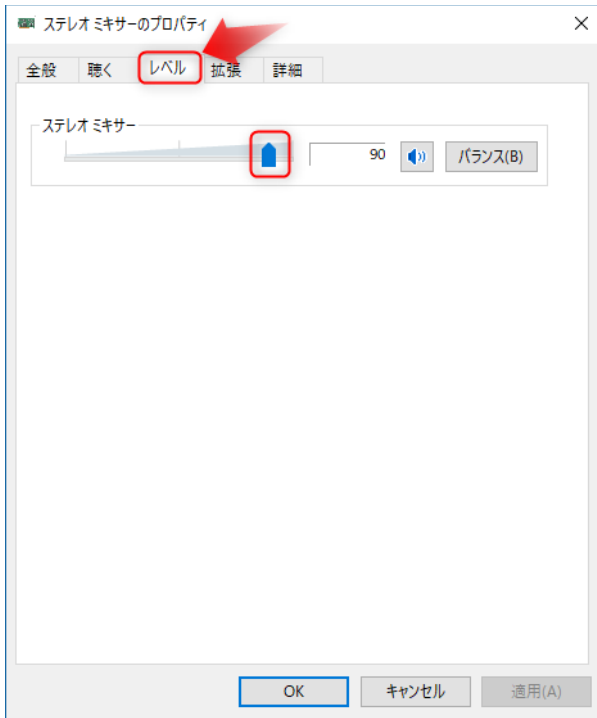
◆右クリックメニューから「有効化」または「既定のデバイスとして設定」を選択することで設定できます。



③再生プレーヤーで音声を再生すると、インジケータが適度に触れることを確認します。

◆インジケータが適度に振れない場合、「プロパティ」をクリックして、表示されるダイアログでレベルを調整します。

[レベル]タブを選択し、スライダーを移動させて、ステレオミキサーのレベルを調整します。(調整して、適切かどうかは、前頁のインジケータが適度に振れるかどうかで判断します)

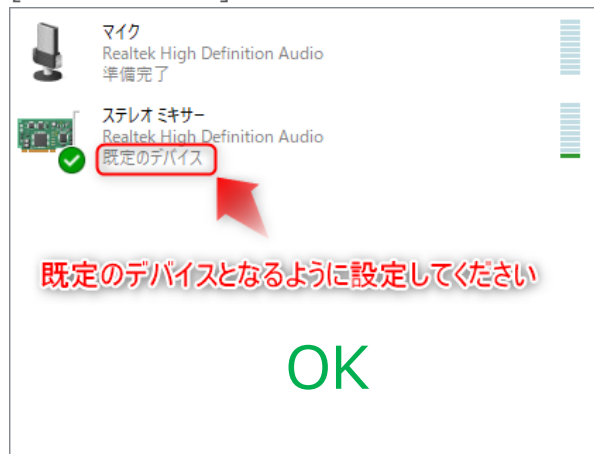


- ◆ レベルを調整しても、インジケータが適度に振れない場合は、パソコンの問題になります。パソコンメーカーにお問合せください。
- ◆ 右クリックメニューから「無効なデバイスの表示」「切断されているデバイスの表示」を選択すると、デバイスが表示される場合があります。
- ◆ 「既定の通信デバイス」となっている場合は、インジケータが反応していても認識できません。右クリックメニューから「既定のデバイス」となるように設定してください。使用しないデバイスは、右クリックメニューから「無効化」を選択するとより確実です。

録音音声の文字化で認識できない設定例



[再生して文字化]の正しい設定例



- ◆ パソコンによっては、ステレオミキサーが存在しないことがあります。
ステレオミキサーがパソコンに搭載されていない場合、
対応方法①：オーディオケーブルを介して、マイクの設定で認識する方法
対応方法②：USB ステレオミキサーを用いる方法
により、認識させることができます。(次ページ)

ステレオミキサーが存在しないパソコンの場合

対応方法①：オーディオケーブルを介して、マイクの設定で認識する方法



1	二股分配ケーブルをパソコンのヘッドホン端子に接続します。
2	二股分配ケーブルと（ヘッドホン・スピーカーなど）と接続します。
3	二股分配ケーブルとオーディオケーブルを接続します。
4	オーディオケーブルをパソコンのマイク端子に接続します。

◆再生音声をマイクに流し込んで認識させますので、録音デバイスはマイクを「既定のデバイス」に設定してください。

◆オーディオケーブルは、「抵抗入り」と「抵抗なし」の2種類があります。ご利用のパソコンの仕様に基づいたオーディオケーブルを選択してください。詳しくは、パソコンの取扱い説明書をご確認ください。

対応方法②：USB ステレオミキサーを用いる方法

「USB」「ステレオミキサー」をキーワードにネット検索してみてください。ステレオミキサー機能を追加可能な機器がいろいろ見つかります。

◆USB ステレオミキサーとパソコンとの相性に関して、ボイステクノ並びに販売者等は、動作保証を行っていません。詳細は、USB ステレオミキサーの開発元にお問い合わせをお願いします。

◆USB ステレオミキサーに付属の専用ソフトをインストールすると、録音デバイスに、ステレオミキサーに相当するデバイスが追加される商品があります。

例：Creative 社の再生リダイレクト対応商品（[対応一覧](#)）（Ctrl キーを押しながらクリック）など

上記商品は、一例であって、ボイステクノ並びに販売者等は、ご利用のパソコンでの動作を保証するものではありません。USB ステレオミキサーの導入に際しては、ご自身の責任でご判断願います。

3-3 入力音声のレベル調整（初期設定）

パソコンに入力される音声を録音し、録音品質と入力音声のレベルを確認します。

STEP 3-3-1 STEP3-2 録音デバイスの設定を行います。

STEP 3-3-2 [初期設定]のチェックを入れます。

チェックを入れると、入力音声の確認ボタンバーが表示されます。

「マイクによる音声を文字化」の場合



①[録音開始]をクリックし、マイクに向かって話します。

②[録音停止]ボタンをクリックするか、または10秒が経過すると、③「状態の目安」に、パソコンに入力された音声のレベルが判定され表示されます。



録音が完了すると、音声レベルの結果（上記表示例は、④「適した音量」）が表示され、⑤[再生]ボタンをクリックすると、この間に録音された音声再生されます。正常に録音されたかどうかを確認してください。

「録音音声を再生して文字化」の場合



- ①音声ファイルを選択します。
- ②[再生]ボタンをクリックし、音声ファイルを再生します。
- ③[録音開始]をクリックします。
- ④[録音停止]ボタンをクリックするか、または10秒が経過すると、⑤「状態の目安」に、パソコンに入力された音声のレベルが判定され表示されます。



録音が完了すると、音声レベルの結果（上記表示例は、⑥「適した音量」）が表示され、⑦[再生]ボタンをクリックすると、この間に録音された音声再生されます。正常に録音されたかどうかを確認してください。

◆マイク、ステレオミキサーの性能が悪いと、ノイズを含んだ音声再生されます。ノイズを含んでいると音声認識の精度は期待できません。また、STEP3-2 録音デバイスの設定に記載のレベルが適切でないと、音が割れたり、再生音がほとんど聞こえない状態になることがあります。このような状態になる場合は、STEP3-2 録音デバイスの設定をやり直してください。ステレオミキサーの性能が悪い場合は、ステレオミキサーが存在しないパソコンの場合の対応方法（P16）をご確認ください。

4. マイクによる音声文字化の使い方

4-1 音声認識の実行

マイクに向かって話した音声を文字に変換します。**以下の手順は、3の事前準備ができている前提です。**

「マイクによる音声文字化」を実行する前に、録音デバイスを、マイクが「既定のデバイス」となるように設定し、入力音声レベルが適切な音量となるように調整しておいてください。

STEP 4-1-1 メイン画面から、音声認識の言語①を選択し、音声認識の②開始をクリックします。



[認識時の設定項目]

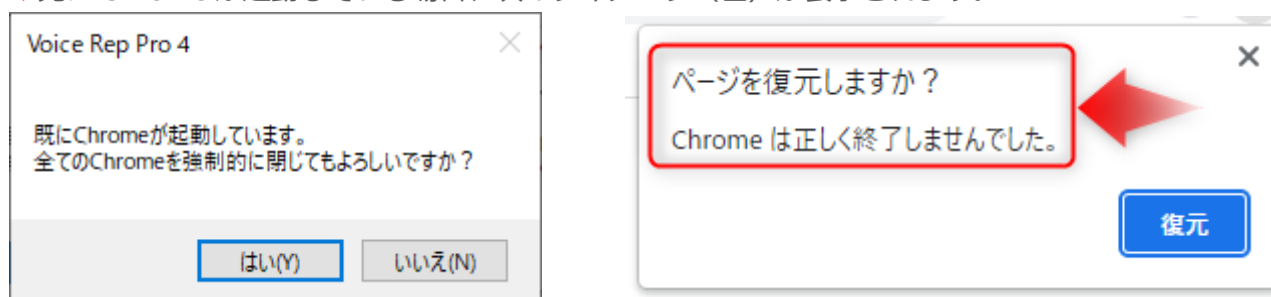
①音声認識の言語

言語は、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語から選択できます。

③リフレッシュ間隔 [秒] :

Google Chrome が音声認識を行うときのリフレッシュ間隔を設定します。音声認識動作が停止しないように、更新を行う時間間隔のことです。

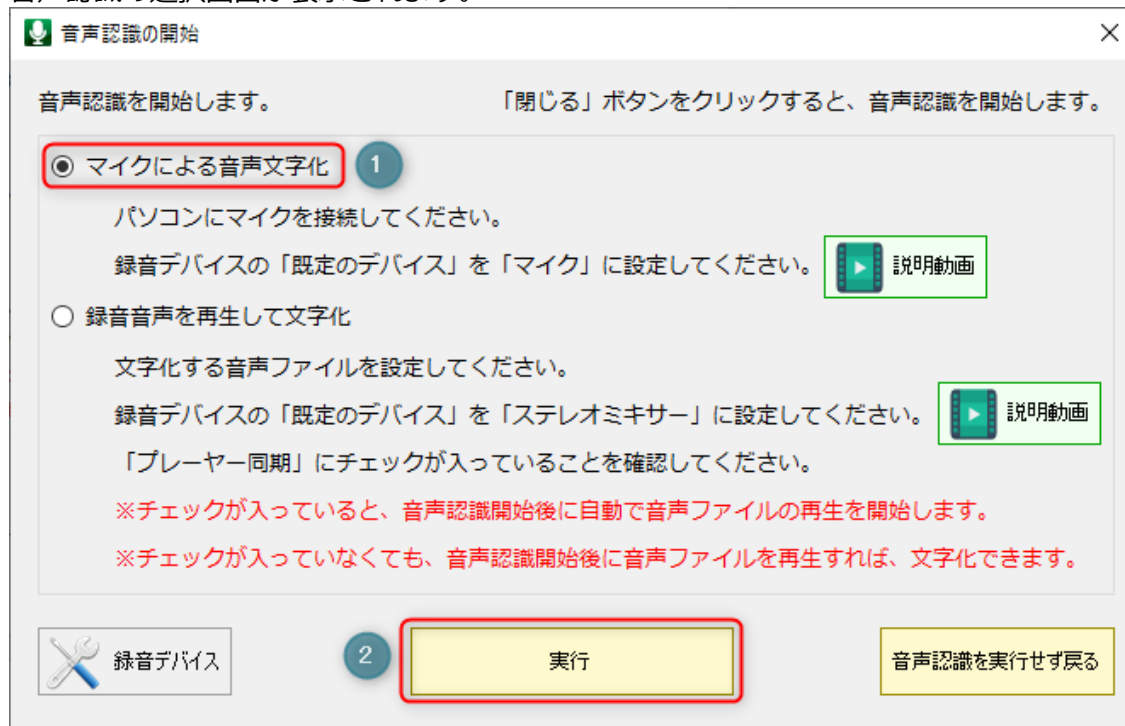
◆先に Chrome が起動している場合、次のダイアログ (左) が表示されます。



先に起動している Chrome を手動で閉じる場合は、[いいえ]を選択し、起動している Chrome を閉じてから、再度、前記音声認識の①開始を実行してください。

[はい]を選択すると、本ソフトが起動している全ての Chrome を強制的に閉じます。強制的に Chrome を閉じると、次回 Chrome を単独で起動したとき、上のダイアログ (右) が表示されます。

音声認識の選択画面が表示されます。



「マイクによる音声文字化」①を選択し、[実行]②をクリックします。

音声認識の言語によっては、言語オプションの選択ダイアログが表示されます。

英語の場合



選択可能な言語オプション(7種類)

1. Australia
2. Canada
3. India
4. New Zealand
5. South Africa
6. United Kingdom
7. United States

スペイン語の場合



選択可能な言語オプション(19種類)

1. Argentina
2. Bolivia
3. Chile
4. Colombia
5. Costa Rica
6. Ecuador
7. El Salvador
8. España
9. Guatemala
10. Honduras
11. México
12. Nicaragua
13. Panamá
14. Paraguay
15. Perú
16. Puerto Rico
17. República Dominicana
18. Uruguay
19. Venezuela

中国語の場合



選択可能な言語オプション(4種類)

1. 普通话 (中国大陆)
2. 普通话 (香港)
3. India
3. 中文 (台湾)
4. 粵語 (香港)

ポルトガル語の場合



選択可能な言語オプション(2種類)

1. Brasil
2. Portugal

Google Chrome が自動で起動されます。

Chromeを起動中です。そのまましばらくお待ちください。

◆ Chrome の起動が完了しても、Chrome のメイン画面には表示されません。Windows のタスクバーに Chrome アイコンが表示されます。



Chrome の起動が完了したら、マイクに向かって話してください。

◆ 通信回線の速度が遅いと、リアルタイムに音声認識が実行されないことがあります。高速通信が行われるネット環境でご利用ください。

◆ 通信回線に不調があると転送できなくなることがあります。転送できなくなった場合は、接続が切れている可能性がありますので、音声認識を停止して、再度、起動し直してください。

STEP 4-1-2 音声認識中に操作可能な認識操作ボタン



①[停止]をクリックすると、音声認識処理を終了します。起動していた Chrome も閉じられます。

Chromeを終了中です。そのまましばらくお待ちください。

②Chrome 側の音声認識動作をリセットします。

5. 録音音声を再生して文字化の使い方

5-1 音声認識の実行

録音音声を上部のプレーヤーで再生することで、再生した音声を文字に変換します。

以下の手順は、3の事前準備ができている前提です。

再生して文字化を実行する前に、録音デバイスを、ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定し、入力音声レベルが適切な音量となるように調整しておいてください。

◆録音音声文字化時の留意点

マイクを通していない音声の会議録音、フリートーク、電話などの会話調の音声、街中のインタビューなどの場合は、認識精度は期待できません。ほとんど認識できないこともあります。また、録音品質が悪い（ノイズが多い）場合も認識精度が出ません。録音時に、マイクと口元が30cm以上離れている場合は認識精度が悪くなります。会議の場合は、発話者ごとにマイクを通して話すようにし、明瞭に話すことを心がけてください。テーブルの中央にICレコーダーを置いただけの録音の場合（集音マイクでの録音）は、認識精度は出ません。

STEP 5-1-1 メイン画面から、①文字化したい音声ファイルを選択し、②音声認識の言語を選択します。続いて、音声認識の③開始をクリックします。



[認識時の設定項目]

②音声認識の言語

言語は、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語から選択できます。

④リフレッシュ間隔 [秒] :

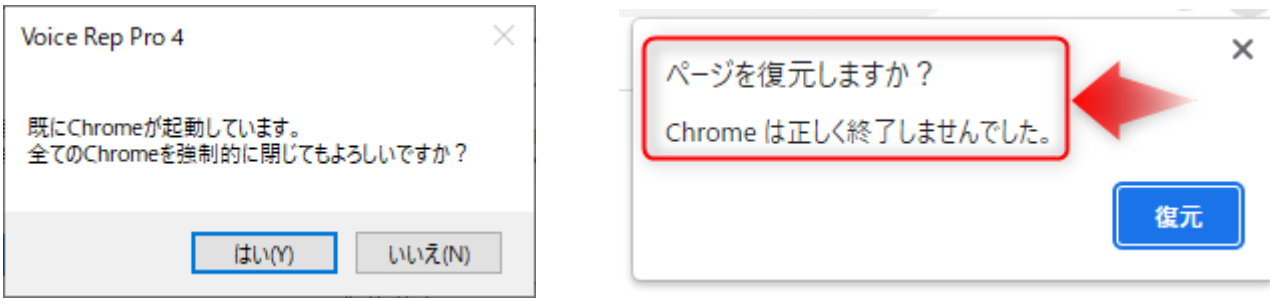
Google Chrome が音声認識を行うときのリフレッシュ間隔を設定します。音声認識動作が停止しないように、更新を行う時間間隔のことです。

⑤タイムライン（認識時に付与）:

チェックを入れて、音声認識を開始すると、音声ファイルのカウンター情報（時：分：秒）が音声認識単位ごとに付与されます。音声ファイルのどの部分を文字化したかが、後でよくわかり、校正に便利です。ネット環境によっては、カウンター情報と付与された時間情報にずれが生じることがあります。付与されるタイムラインの正確性は保証していません。

※[タイムライン除去]ボタンをクリックすると、タイムラインをすべて除去することができます。(P28)

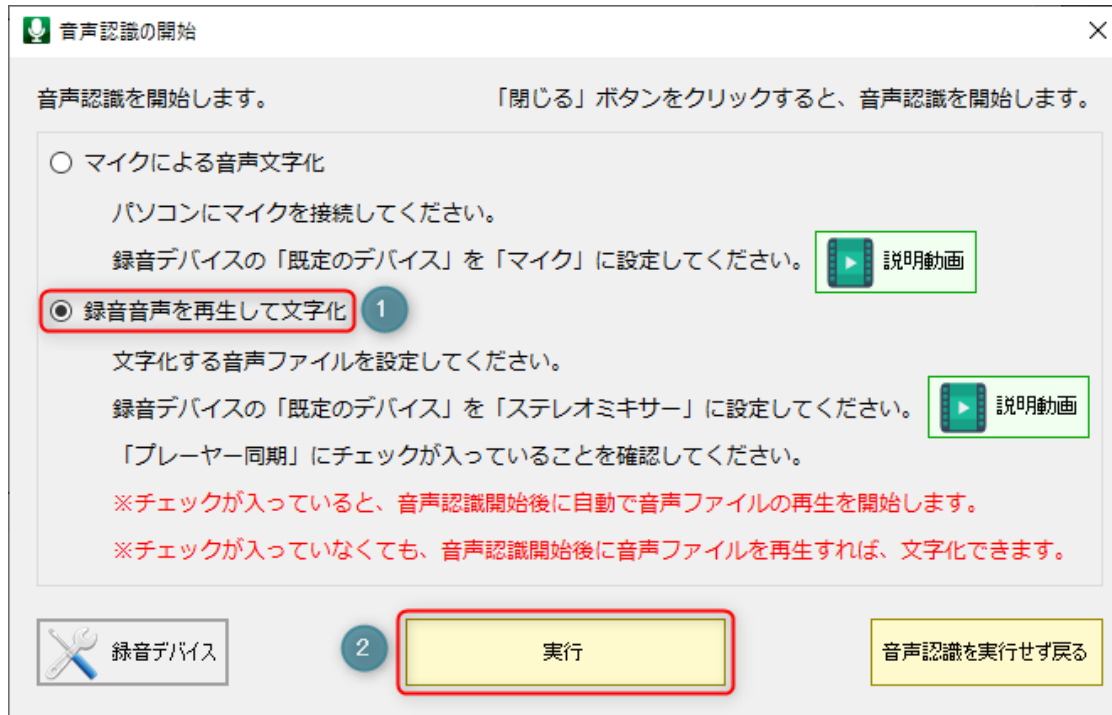
◆先に Chrome が起動している場合、次のダイアログ（左）が表示されます。



先に起動している Chrome を手動で閉じる場合は、[いいえ]を選択し、起動している Chrome を閉じてから、再度、前記音声認識の①開始を実行してください。

[はい]を選択すると、本ソフトが起動している全ての Chrome を強制的に閉じます。強制的に Chrome を閉じると、次回 Chrome を単独で起動したとき、上のダイアログ（右）が表示されます。

音声認識の選択画面が表示されます。



「録音音声を再生して文字化」①を選択し、[実行]②をクリックします。

音声認識の言語によっては、言語オプションの選択ダイアログが表示されます。

英語の場合



スペイン語の場合



選択可能な言語オプション(19種類)

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. Argentina | 11. México |
| 2. Bolivia | 12. Nicaragua |
| 3. Chile | 13. Panamá |
| 4. Colombia | 14. Paraguay |
| 5. Costa Rica | 15. Perú |
| 6. Ecuador | 16. Puerto Rico |
| 7. El Salvador | 17. República Dominicana |
| 8. España | 18. Uruguay |
| 9. Guatemala | 19. Venezuela |
| 10. Honduras | |

中国語の場合



選択可能な言語オプション(4種類)

1. 普通话 (中国大陆)
2. 普通话 (香港)
3. 中文 (台湾)
4. 粵語 (香港)

ポルトガル語の場合



選択可能な言語オプション(2種類)

1. Brasil
2. Portugal

Google Chrome が自動で起動されます。

Chromeを起動中です。そのまましばらくお待ちください。

◆ Chrome の起動が完了しても、Chrome のメイン画面には表示されません。Windows のタスクバーに Chrome アイコンが表示されます。



「プレーヤー同期」にチェックが入っている場合、Chrome の起動が完了すると、音声ファイルの再生が自動で開始され、文字化が始まります。

「プレーヤー同期」にチェックが入っていない場合、Chrome の起動が完了したあとに、音声ファイルを手動で再生してください。再生された音声の文字化が始まります。

◆通信回線の速度が遅いと、リアルタイムに音声認識が実行されないことがあります。高速通信が行われるネット環境でご利用ください。

◆通信回線に不調があると転送できなくなることがあります。転送できなくなった場合は、接続が切れている可能性がありますので、音声認識を停止して、再度、起動し直してください。

◆録音音声ファイルを最後まで再生すると、再生位置が自動で先頭に戻り、音声認識も終了します。

STEP 5-1-2 音声認識中に操作可能な認識操作ボタン



①[停止]をクリックすると、音声認識処理を終了します。起動していた Chrome も閉じられます。

Chromeを終了中です。そのまましばらくお待ちください。

②Chrome 側の音声認識動作をリセットします。

6. 再生プレイヤーの使用法

6-1 再生リストの設定



本ソフトで再生するボイスファイルを再生リストに設定します。



①	再生リストに追加するファイルを開き設定します。ファイルをリスト一覧部にドロップすることでも追加できます
②	[再生リストを保存]で保存した過去の再生リストを開きます。(リストの各パスにファイルが存在している必要があります。)
③	設定したリスト情報をファイルとして保存します。
④	リスト画面に表示された再生リストの表示を全てクリアします。(ボイスファイルの実態そのものは削除されません。)
⑤	再生リストの中で選択した行のリストを削除します。
⑥	ボタンを押下すると、[説明文表示状態]にリスト画面の表示が変更されます。
⑦	チェックを入れると、この再生リストの設定ダイアログを常に最前面に表示します。
⑧	チェックを入れると、この再生リストの設定ダイアログを閉じると同時に、選択されているリストのボイスファイルの再生が始まります。

6-2 キーの設定



本ソフトの動作をキーボードで操作するためのキーを設定します。



①	チェックを入れると設定したキーで、本ソフトの操作が実行できます。利用しない機能のキーはチェックを外してください。
②	Ctrl/Shift/Alt/Noneの中から設定できます。Noneは、修飾キーを設定しないときに選択してください。
③	Esc/→/←/・・・・/↑/↓/変換など、機能に割り当てたいキーを設定します。
④	②と③で設定したキーの組み合わせの状態（メイン画面で操作するキー）が表示されます。
⑤	一時停止時に自動で巻き戻す秒数を設定します。

⑥	早送りの操作を1回行うときに移動させる秒数を設定します。
⑦	早戻しの操作を1回行うときに移動させる秒数を設定します。
⑧	すべての設定が完了したら、[設定]ボタンを押下し設定した内容を保存します。

6-3 メイン画面操作 1

本ソフトのメイン画面操作に関する説明です。(その1)



①	ボイスファイルの再生・一時停止を実行します。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
②	再生リストに設定した次のファイルを再生します。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
③	再生リストに設定した前のファイルを再生します。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
④	ボイスファイルの再生位置を早戻しします。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
⑤	このつまみをつかんで任意の再生位置に移動できます。
⑥	ボイスファイルの再生位置を早送りします。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
⑦	再生時のレベルメーターを表示します。(mp3/wma/wav ファイルの再生時のみ表示されます。)
⑧	再生時の時間情報を表示します。1秒ごとにカウントアップしていきます。
⑨	ボタンをクリックすると、⑧のタイムカウンタ情報がクリップボードにコピーされます。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。本操作後に、貼り付けを行うとカウンター情報がテキスト画面に貼り付けられます。
⑩	選択しているボイスファイルの録音時間を表示します。

6-4 メイン画面操作 2

本ソフトのメイン画面操作に関する説明です。(その2)



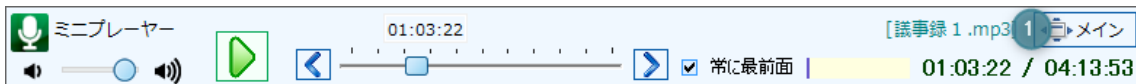
①	再生範囲の再生開始点を設定します。
②	再生範囲の再生終了点を設定します。
③	ボイスファイルの再生速度を調整します。再生速度を変えても音程が変わりません。
④	録音されているボイスファイルそのものの音声レベルを増減します。(mp3/wma/wav ファイルのみ実行できます。)
⑤	チェックを入れると、設定した時間で、(指定した時間再生)→(一時停止して指定した時間戻す。)→(指定した時間待機)を繰り返します。
⑥	自動繰り返しを行うときの再生区切り時間を設定します。
⑦	自動繰り返しを行うときの繰り返し時に戻す時間を設定します。
⑧	自動繰り返しを行うときの待機時間を設定します。
⑨	自動繰り返しを行うときの待機時間の残り秒数が赤字で表示されます。

6-5 プレーヤーのみ画面



①	テキスト編集画面を開いて、メイン画面全体を表示するときにクリックします。
②	ミニプレーヤーの表示に切り替えるときにクリックします。

6-6 ミニプレーヤー

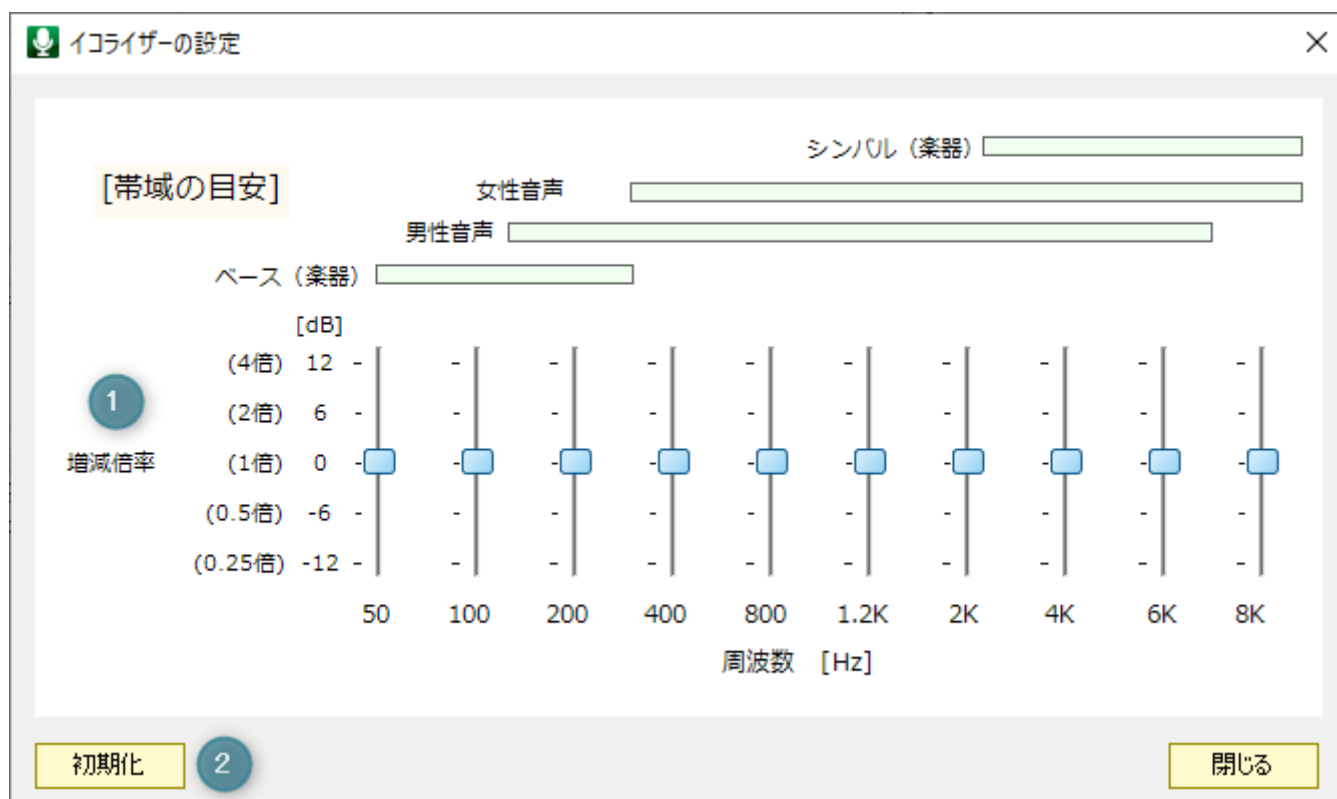


①	メイン画面のプレーヤーに戻すときにクリックします。
---	---------------------------

6-7 イコライザーの設定



ボイスファイルの周波数ごとに強弱を設定して聞き易くします。(mp3/wma/wav ファイルのみ実行できます。)

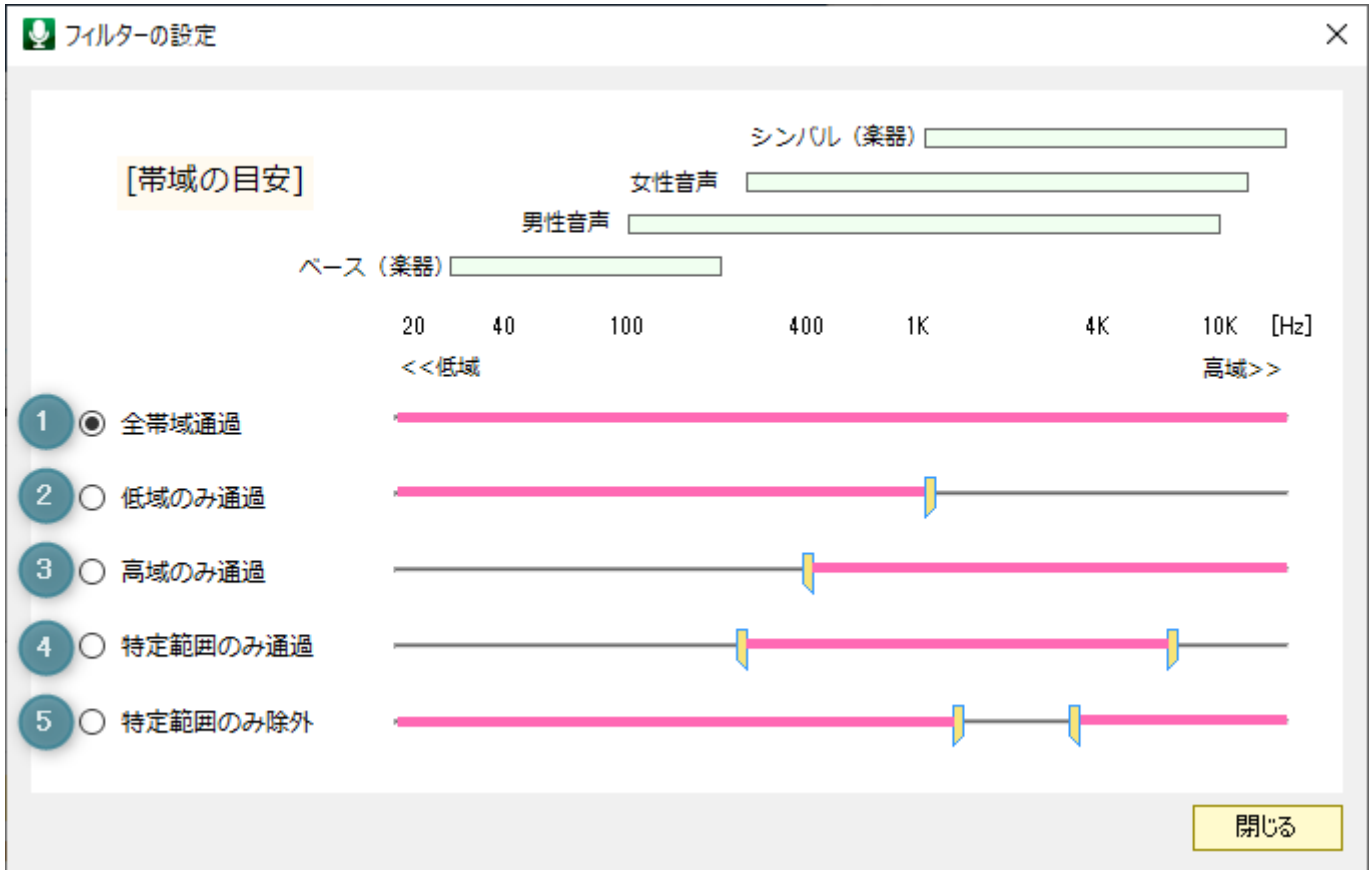


①	周波数ごとに増減倍率を設定します。
②	クリックすると、角周波数の増減倍率がすべて1倍に設定されます。

6-8 フィルターの設定



ボイスファイルの特定の周波数を遮断したり、通貨させたりして聞き易くします。(mp3/wma/wav ファイルのみ実行できます。)



①	すべての周波数を通過させます。フィルターを設定していない状態です。
②	ボイスファイルの再生時に周波数の低域だけを通過させます。
③	ボイスファイルの再生時に周波数の高域だけを通過させます。
④	ボイスファイルの再生時に特定範囲の周波数だけを通過させます。
⑤	ボイスファイルの再生時に特定範囲の周波数だけを遮断します。

6-9 ファイル出力



いろいろな処理により別のボイスファイルを出力します。(mp3/wma/wav ファイルのみ実行できます。)

※無音部の判定では、ノイズが多いと実行できないことがあります。

ファイル出力

対象元ファイル名: M:¥ボイスメディア¥議事録 1.mp3

1 ファイル全体の音声レベルを均一化 処理の繰り返し回数: 2

保存するファイル名: 参照 実行

2 再生範囲 00:00:00 ~ 04:13:53 を切り抜いて別ファイルに保存

保存するファイル名: 参照 実行

無音部の判定条件: 音声レベルが小さい状態 (1.0 %未満) が 1.0 秒間、続く区間

3 先頭・末尾の無音部をカットして別ファイルに保存

無音 1 無音 2 無音 3 無音 4 無音 5 無音

保存するファイル名: 参照 実行

4 ファイル全体から無音部のすべてをカットし別ファイルに保存

無音 1 無音 2 無音 3 無音 4 無音 5 無音

保存するファイル名: 参照 実行

5 ファイルを無音部で分割し、複数のファイルに保存

無音 1 無音 2 無音 3 無音 4 無音 5 無音

ファイル名: ファイル001 1 ファイル002 2 ファイル003 3 ファイル004 4 ファイル005 5

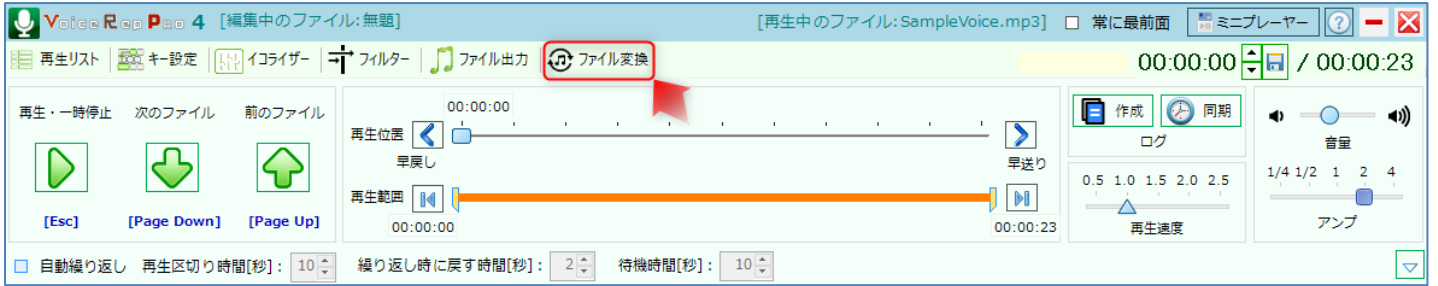
保存するファイル名: 参照 実行

※保存ファイル名に連番(001~)が自動で付与され複数ファイルを生成します。

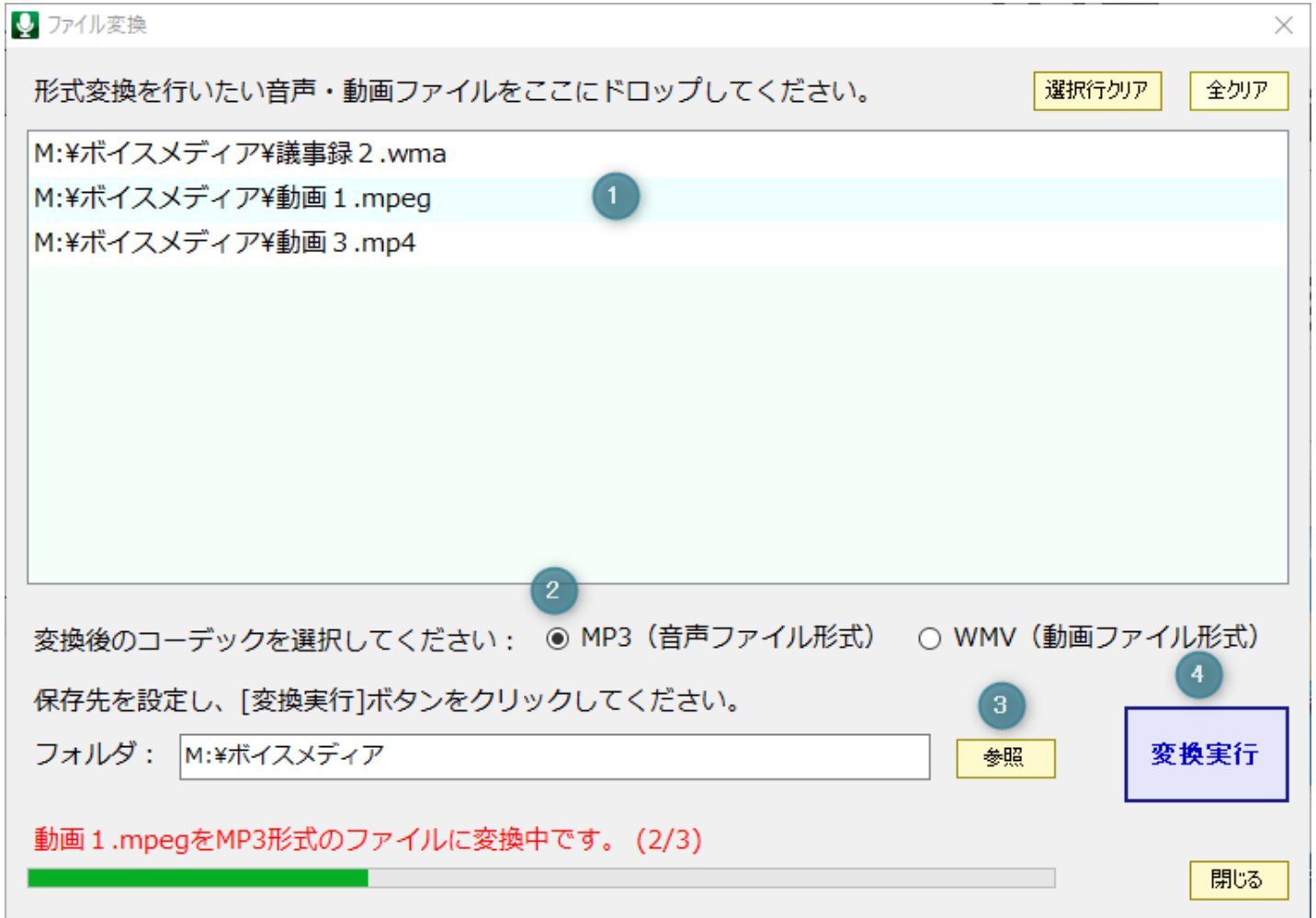
0% 閉じる

①	ファイル全体の音声レベルを均一化します。小さ過ぎる音は増幅され、大き過ぎる音は減衰されます。また、突発的な異常音がなくなるので、安心して聞き取りができるようになります。
②	メイン画面で設定した再生範囲だけを切り抜いて、別ファイルに保存します。
③	ボイスファイルの先頭と末尾の無音部をカットし、別ファイルに保存します。
④	ファイル全体から無音部のすべてをカットし、別ファイルに保存します。
⑤	ファイルが無音部で分割し複数のファイルに保存します。ファイル名には連番 (001～) が付与されます。

6-10 ファイル変換



ボイスファイルや動画ファイルの形式を MP3 形式または WMV 形式に変換します。



①	形式変換を行いたいファイルをリスト画面にドロップします。
②	変換後のコーデックを MP3 形式/WMV 形式のいずれかから選択します。
③	変換後に作成する新たなファイルの保存先を設定します。変換前のファイルはそのまま残ります。
④	[変換実行]をクリックすると、変換処理がはじまります。

※すべてのファイル形式の変換を保証するものではありません。

※変換を実行する前に、変換元ファイルのバックアップを取ってから実行してください。

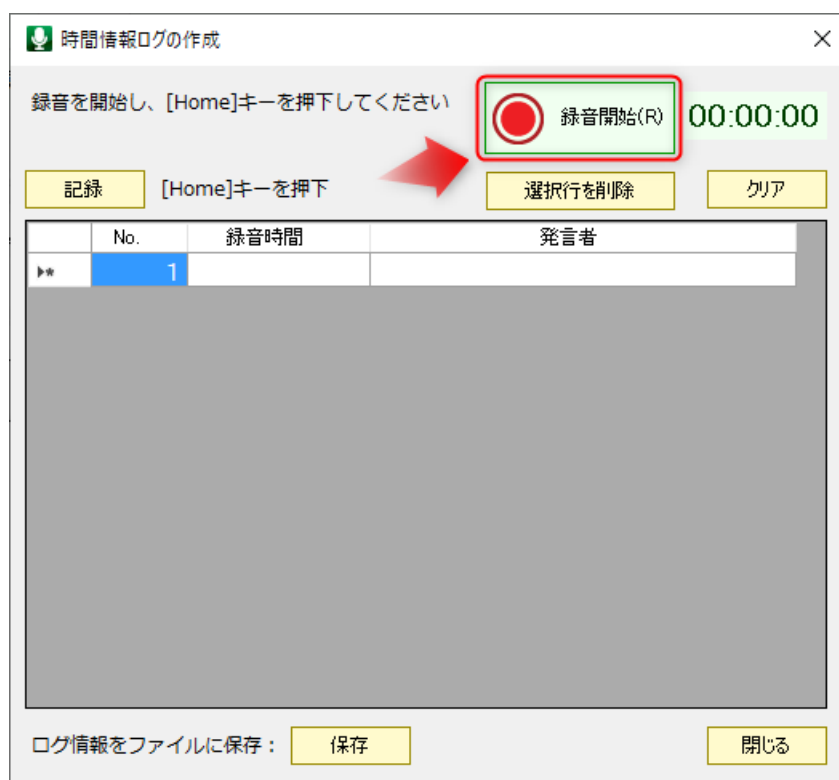
7. 時間情報ログの使用法

7-1 時間情報ログの作成



会議などの開始後、時間ごとの発言者名を順次ログ情報として保存する場合に利用します。パソコンに入力された音声データも録音します。

◆録音ファイルは、録音デバイスに設定された既定のデバイスに入力された音声を録音します。マイクの場合は、マイクに入力された音声、ステレオミキサーの場合は、パソコンで再生した音声を録音します。



[録音開始]をクリックします。



- | | |
|---|---|
| ① | [記録]ボタンをクリック、または、[Home]キーを押下すると、その時点の録音時間が追加されます。 |
| ② | 録音時間に設定された発言者を入力します。 |
| ③ | [録音停止]ボタンをクリックすると、録音が停止します。 |



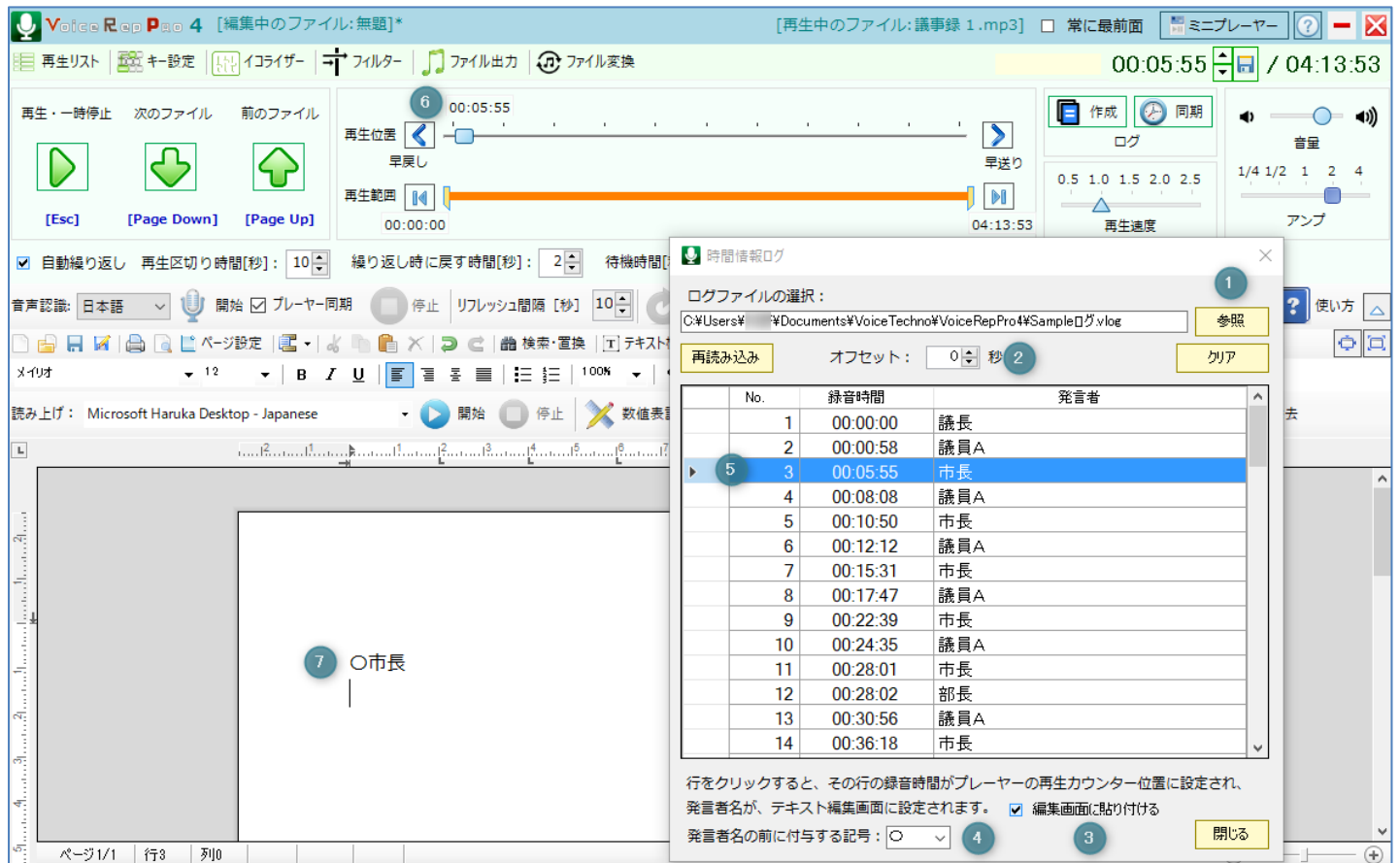
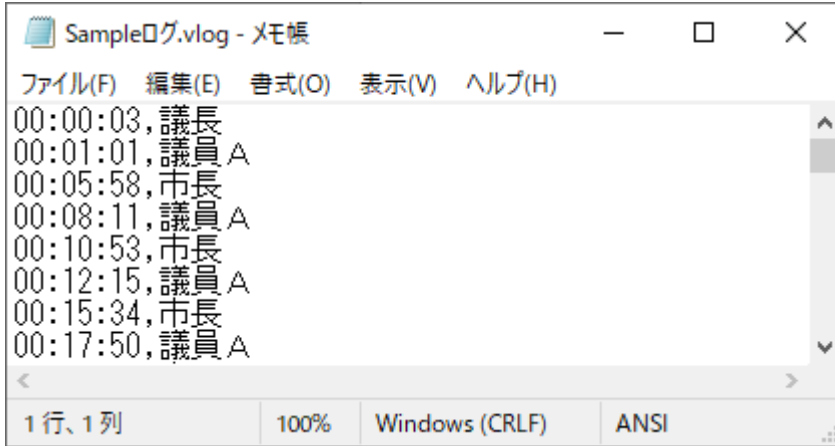
作成したログ情報（録音時間、発言者）をファイルに保存します。

7-2 時間情報ログで同期



7-1 で作成したログ情報（メモ帳で編集可能）を指定することで、カウンター情報と録音ファイルと同期し、文字起こしができます。

「ログ情報例」



①	ログファイルを選択します。
②	録音時間の開始時間にズレがある場合、オフセットで開始時間を調整します。
③	編集画面に発言者名を付与する場合にチェックを入れます。
④	発言者名の前に付与する記号を選択します。選択肢がない場合は、直接入力します。
⑤	一覧表の中からひとつの行を選択します。
⑥	④で行を選択した瞬間に、その行の録音時間にボイスファイルの再生位置（カウンター）が移動します。
⑦	④で行を選択した瞬間に、その行の発言者名がテキスト編集画面に設定されます。

※表示している音声ファイルの録音時間外のログ情報は、同期できません。

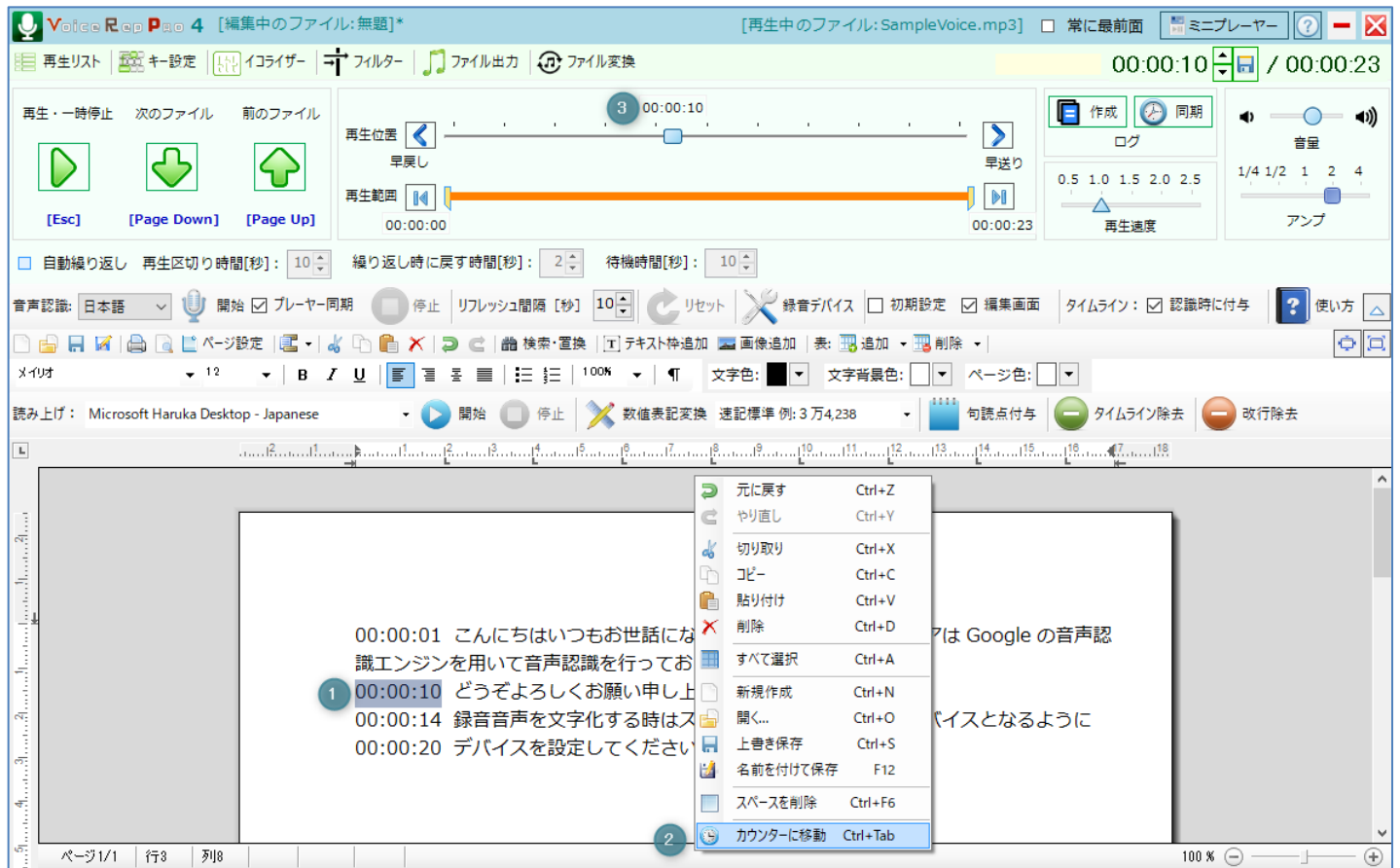
8. 編集画面の利用



[編集画面]にチェックを入れると、文章編集画面が表示されます。

8-1 テキスト編集画面からのカウンター移動

テキスト編集画面にカウンター情報を設定しておけば、そのカウンター情報から再生位置が瞬時に移動できます。あとで再確認したい部分や、書き起こしと校正を別々に担当しているときの確認作業に便利です。

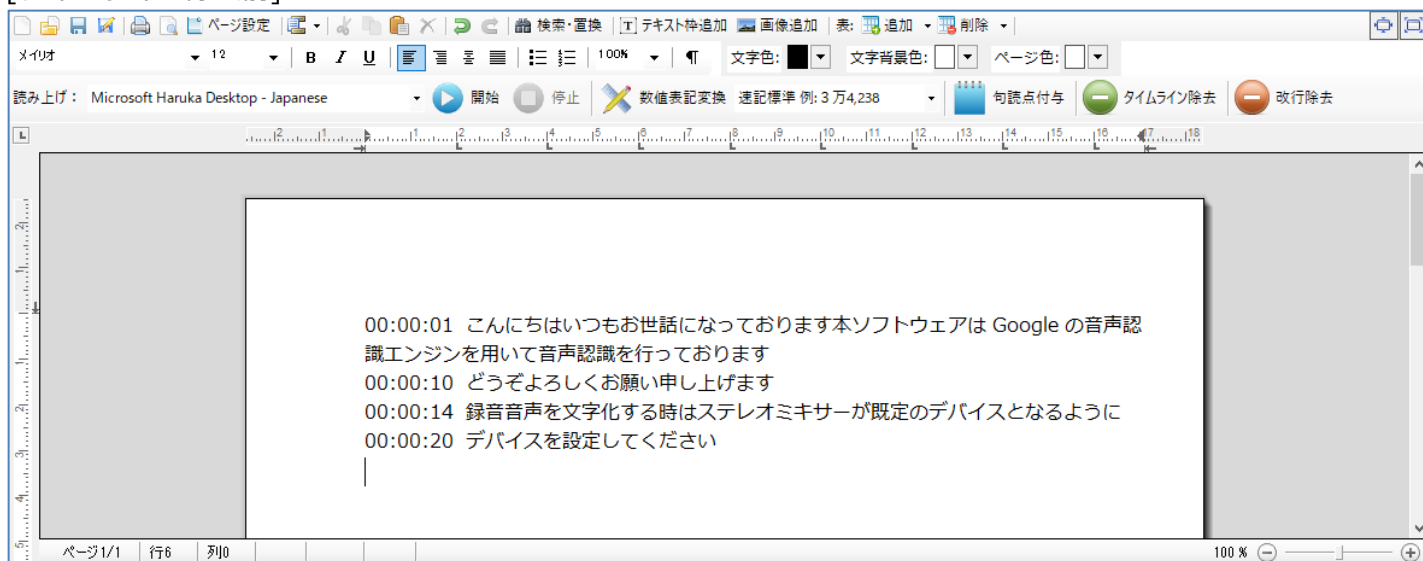


①	テキスト編集画面内のカウンター情報を選択し、コンテキストメニュー（マウスの右クリックメニュー）を表示します。
②	コンテキストメニューの中から[カウンターに移動]を選択します。
③	録音ファイルの再生位置（カウンター）が、①で選択した位置に移動します。

8-2 タイムライン除去

音声認識時に付与されたタイムライン(00:00:00 部)が不要となる場合、ワンクリックで除去できます。

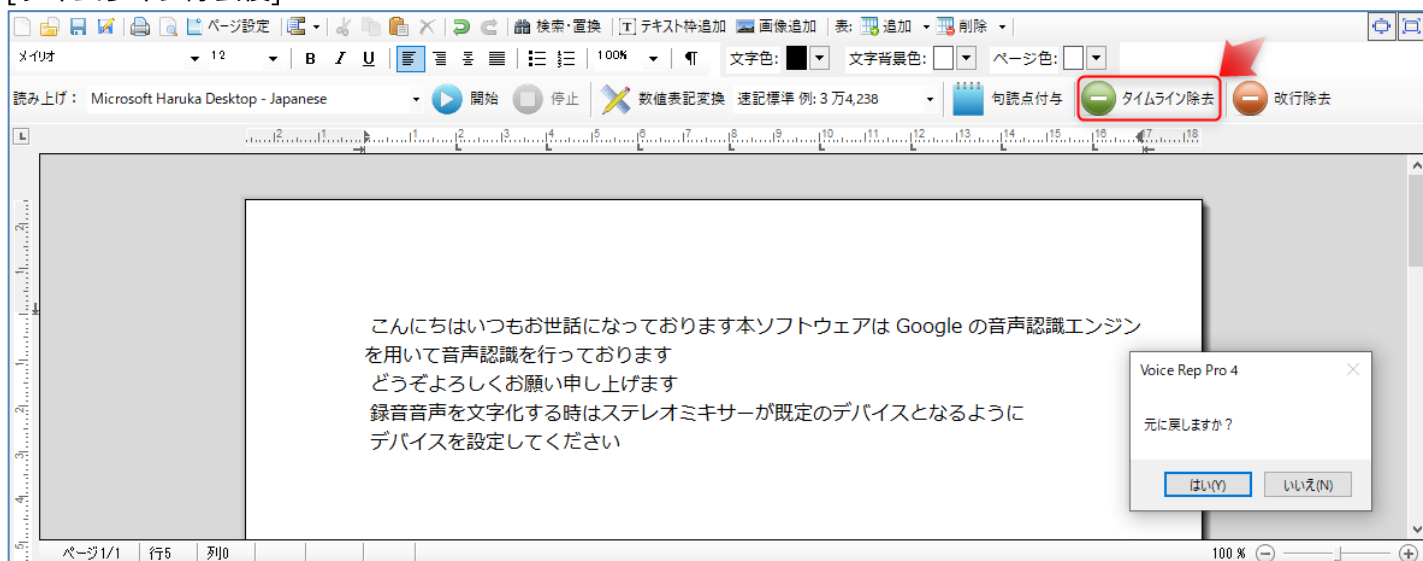
[タイムライン除去前]



[タイムライン除去]をクリックすると、タイムラインが除去されます。「元に戻しますか？」の画面で、「いいえ」をクリックすると、タイムラインの除去が確定されます。



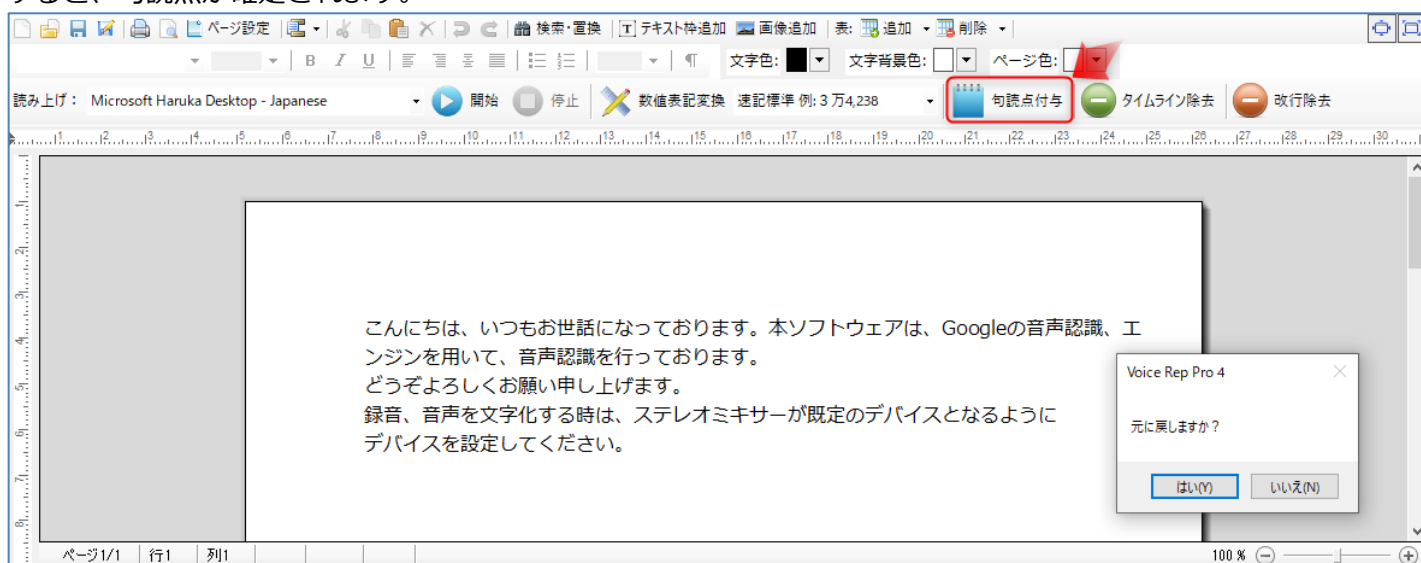
[タイムライン除去後]



8-3 句読点付与

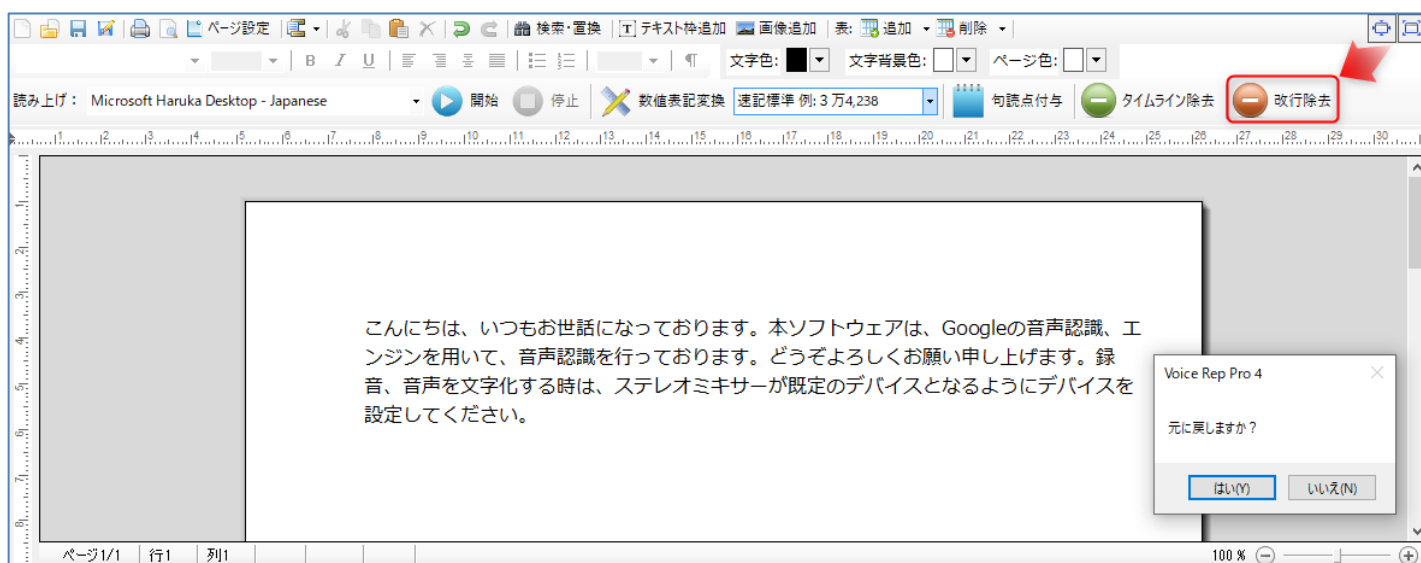
音声認識で文字化された文章には、句読点が付与されていません。

[句読点付与]をクリックすると、句読点が付与されます。「元に戻しますか？」の画面で、「いいえ」をクリックすると、句読点が確定されます。



8-4 改行除去

[改行除去]をクリックすると、改行が除去されます。「元に戻しますか？」の画面で、「いいえ」をクリックすると、改行の除去が確定されます。



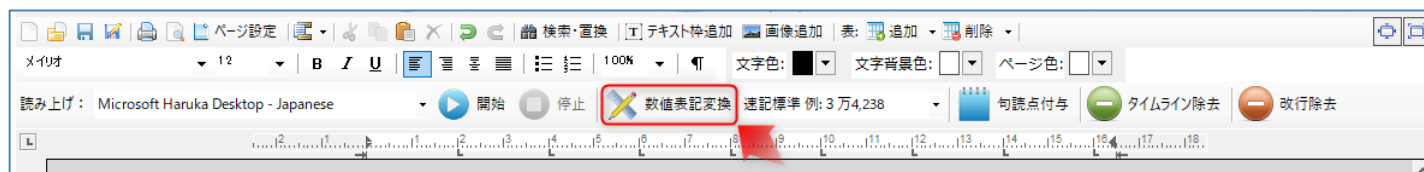
8-5 数値表記変換

文章内の数値部分のみを探し出し、半角、全角、3桁区切りのカンマなど統一された書式に自動で変換します。年号の場合は、カンマを設定しません。

分数 (1/3→3分の1)、時刻 (9:30→9時30分)、単位 (¥→円) に自動設定します。

速記標準	数字が1ケタの場合は全角。それ以外は半角で表示します。3ケタ区切りで、半角のカンマを設定します。
全角標準	全ての数字を全角で表示します。3ケタ区切りで、半角のカンマを設定します。
半角標準	全ての数字を半角で表示します。3ケタ区切りで、半角のカンマを設定します。

[数値表記変換]をクリックします。(下記は、速記標準が選択状態)



変換前例

予算は、¥100000 電気代は¥9883です。2018年度、36,150円と¥50000が予備費です。午前8:30の参加者は746532人です。参加者の1/3は、20代です。



速記標準変換例

予算は、10万円 電気代は9,883円です。2018年度、3万6,150円と5万円が予備費です。午前8時30分の参加者は74万6,532人です。参加者の3分の1は、20代です。

全角標準変換例

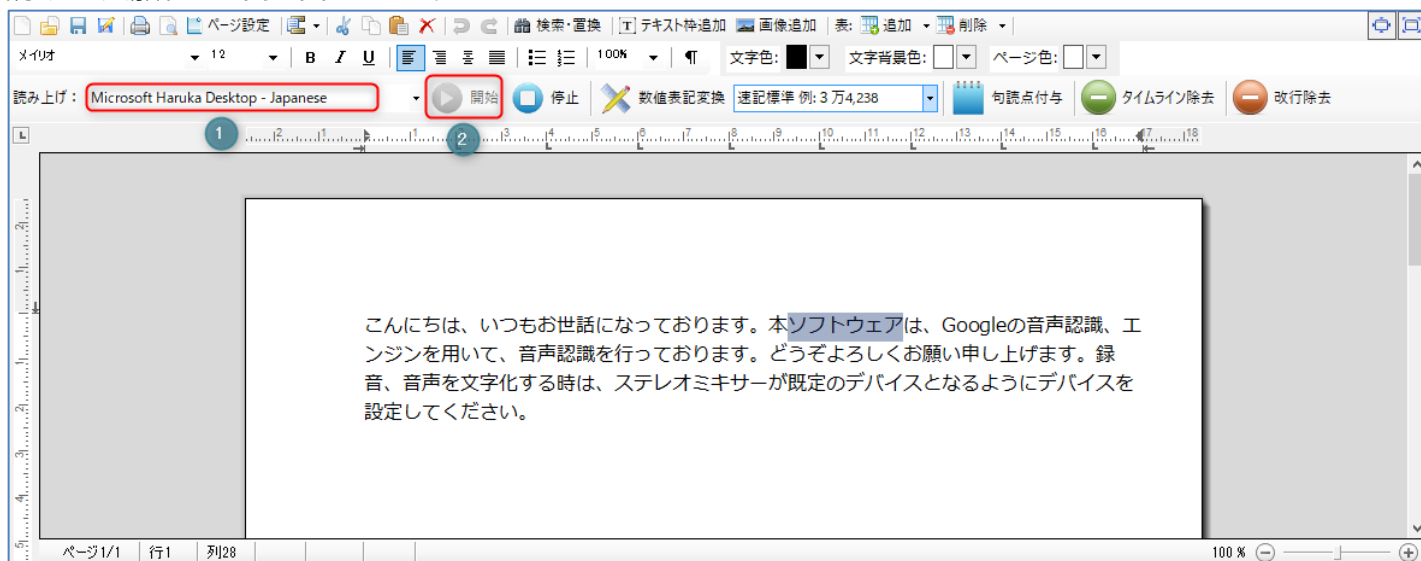
予算は、10万円 電気代は9,883円です。2018年度、3万6,150円と5万円が予備費です。午前8時30分の参加者は74万6,532人です。参加者の3分の1は、20代です。

半角標準変換例

予算は、10万円 電気代は9,883円です。2018年度、3万6,150円と5万円が予備費です。午前8時30分の参加者は74万6,532人です。参加者の3分の1は、20代です。

8-6 読み上げ

読み上げる言語①を選択し、読み上げの[開始]ボタン②をクリックすると、編集画面のテキストを読み上げます。読み上げ場所がハイライトされます。



Windows 10/11 では、日本語と英語の文章を標準で読み上げることができます。

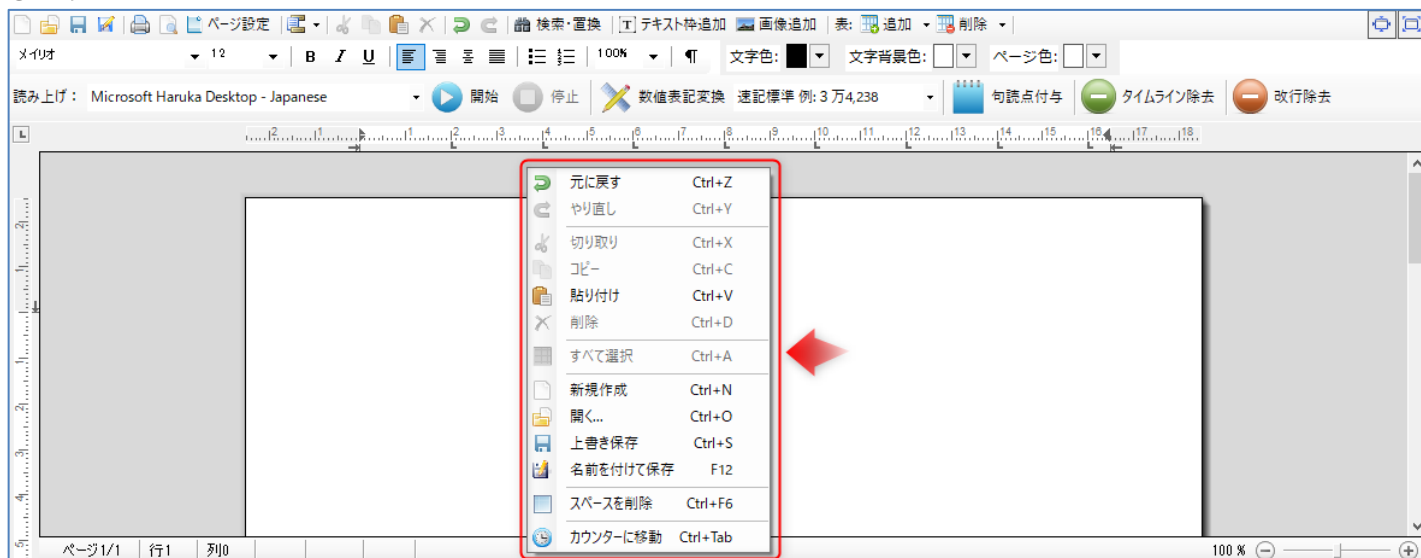
※OSの機能により、読み上げ可能な言語を増やすことができます。

言語の追加方法は、[よくある質問](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) をご確認ください。

8-7 編集画面のコンテキストメニュー (マウス右クリックメニュー)

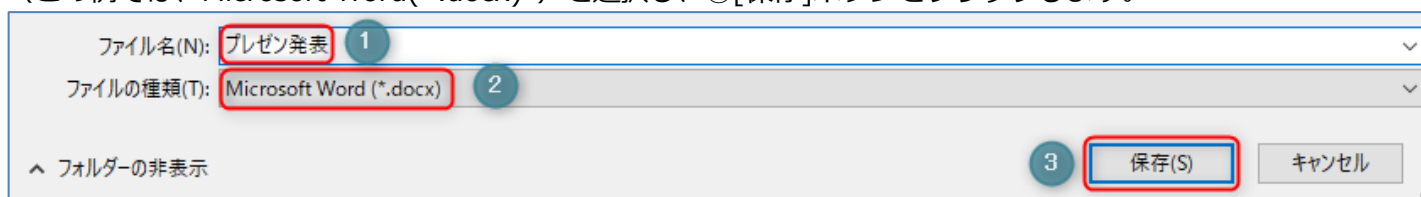
編集画面上で、コンテキストメニューを表示できます。

目的に合わせた機能をマウスクリックまたは、キーボード操作 (例: 「すべて選択」は、Ctrl キーと A キーを押下) します。



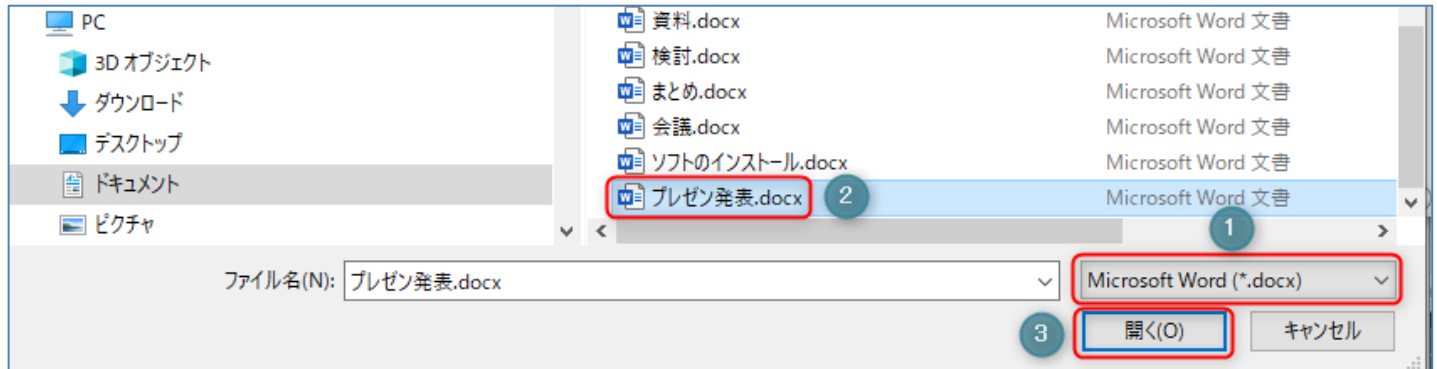
◆作成した文章を保存するときは、「名前を付けて保存...」を選択します。

表示された名前を付けて保存ダイアログで、①ファイル名 (この例ではプレゼン発表) を入力、②ファイルの種類 (この例では、Microsoft Word (*.docx)) を選択し、③[保存]ボタンをクリックします。

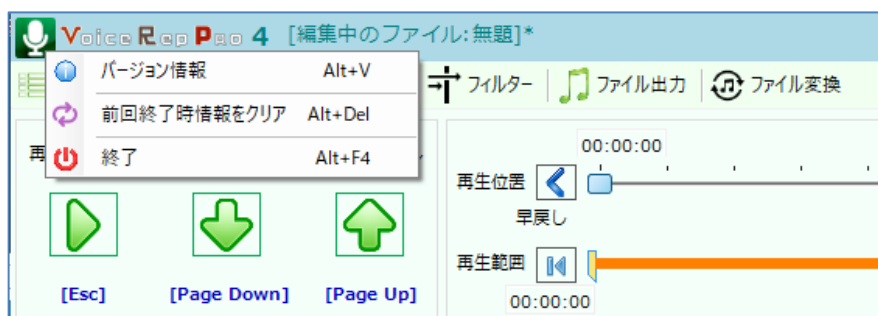


◆保存した文章を開くときは、「開く...」を選択します。

表示された開くダイアログで、①ファイルの種類（この例では、Microsoft Word(*.docx)）を選択し、②ファイル名（この例ではプレゼン発表.docx）を選択、③[開く]ボタンをクリックします。



9. タイトルアイコンのコンテキストメニュー



タイトルアイコン部にマウスカーソルを合わせ、マウス右クリックを選択すると、コンテキストメニューが表示されます。

9-1 バージョン情報

コンテキストメニューから[バージョン情報]をクリックすると、バージョン情報が表示されます。



9-2 前回終了時情報をクリア

コンテキストメニューから[前回終了時情報をクリア]をクリックすると、前回終了時の状態をクリアし、初期状態に戻します。

10. 使い方 (動画)

[使い方]ボタンをクリックすると、本ソフトの使い方を解説した[ホームページ](#) (Ctrl キーを押しながらクリック)が表示されます。操作手順を動画でも確認できるようにしています。



11. サポート連絡先

【ボイステクノサポート】

Voice Rep Pro 4 の[よくある質問](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) のご確認をお願いします。

本ソフトの一次サポートは、販売店がお受けしています。ご購入されたところにお問合せ願います。

それでも解決しない場合は、[サポートページ](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) のお問い合わせフォームから、必要事項をご記入いただき、送信してください。

- ◆24 時間受け付けております。
- ◆お問い合わせいただきしてから「3 営業日」以内に回答いたします。
- ◆お問い合わせはメールでの受付のみとなっております。
- ◆音声認識を行うサーバーは、不定期にメンテナンスを行うことがあります。あらかじめご了承ください。メンテナンス中は、音声認識が実行できない状態となります。

10. ホームページ

Voice Rep Pro 4 の[専用ページ](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) をご確認ください。

【開発元】ボイステクノ (<http://voicetechno-jp.secure-web.jp>)